

令和6年度
江戸川区学校応援団
実践報告書

【小学校】

令和7年3月
江戸川区教育委員会

目 次

小松川小学校	• • • • •	P	1
小松川第二小学校	• • • • •	P	3
小平井小学校	• • • • •	P	5
平井西小学校	• • • • •	P	7
平井東小学校	• • • • •	P	9
平井南小学校	• • • • •	P	12
松江小学校	• • • • •	P	14
西一之江小学校	• • • • •	P	16
西小松川小学校	• • • • •	P	18
大杉小学校	• • • • •	P	20
大杉第二小学校	• • • • •	P	22
大第三松江小学校	• • • • •	P	24
大杉東小学校	• • • • •	P	27
東小松川小学校	• • • • •	P	29
船堀小学校	• • • • •	P	31
船堀第二小学校	• • • • •	P	33
葛西小学校	• • • • •	P	35
二之江小学校	• • • • •	P	37
二之江第二小学校	• • • • •	P	39
第二葛西小学校	• • • • •	P	41
第三葛西小学校	• • • • •	P	43
第四葛西小学校	• • • • •	P	45
第五葛西小学校	• • • • •	P	47
第六葛西小学校	• • • • •	P	49
第七葛西小学校	• • • • •	P	51
南葛西小学校	• • • • •	P	53
南葛西第二小学校	• • • • •	P	55
南葛西第三小学校	• • • • •	P	57
西葛西小学校	• • • • •	P	59
新田小学校	• • • • •	P	61
宇喜田小学校	• • • • •	P	63
清新第一小学校	• • • • •	P	65
清新ふたば小学校	• • • • •	P	67
臨海小学校	• • • • •	P	69
東葛西小学校	• • • • •	P	71

瑞江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P73
春江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P75
新堀小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P77
下鎌田小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P79
下鎌田東小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P81
江戸川小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P83
一之江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P85
一之江第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P87
鹿本小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P89
鹿骨小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P91
鹿骨東小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P93
松本小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P95
本一色小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P97
篠崎小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P99
篠崎第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P102
篠崎第三小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P104
篠崎第四小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P106
篠崎第五小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P108
南篠崎小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P110
鎌田小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P112
小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P114
東小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P116
下小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P118
上小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P120
上小岩第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P122
西小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P124
上一色南小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P126
南小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P128
南小岩第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P130
中岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P132
北小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P134

小松川小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

小松川小学校長 坂野 眞太郎
コーディネーター 松田 守弘

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	48人
	学生ボランティア	6人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全安心・旗振り	毎日	毎日2人
安全安心・交通安全教室	年1回	12人
学校図書・読み聞かせ隊	月2回	20人
学校行事支援	不定期	15人
学習支援隊	週2回程度	6人
環境整備隊	不定期	1人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 保護者による毎朝2名の旗振り当番の協力により、登校中の交差点における自転車との接触事故を今年度も0件にすることができた。
- 安全安心・交通安全教室の活動として、自転車教室での子どもたちの自転車の運転実技の際の見守りに協力いただいた。活動中の補助として手助けいただいたおかげで安全に実技を行うことができた。
- 読み聞かせ隊（学校図書館応援団）は、月2回の頻度で実施できた。子どもたちは真剣な眼差しでお話を聞いており、読書活動の推進という点で成果を上げることができた。また、学校図書館の本の修繕や飾りつけなどの読書環境の充実を図書担当教員や図書館支援員と連携を取りながら計画的に進めることができた。
- 学校行事支援では、運動会でのお手伝いやハッピーファミリーデーの実施、コマサマー2024（デイキャンプ）の実施などバラエティーに富んだ活動を展開してくださり、子供たちの心のたがやしに向けた活動を展開できた。
- 学習支援隊では、教室での学習が難しい子どもたちの個別支援を行ってきた。自己有用感や自己肯定感が高まるような働きかけを行い、学校での居場所づくりと心の安定に役立っていた。

< 課 題 >

学校応援団の人材は保護者に頼る割合が高い。地域の方による潜在的なサポート力の開拓を進め、応援団の充実を図っていく必要がある。

- ボランティアの募集を呼びかけてはいるが、少数精鋭化が進んできている。たくさんの方にご協力をいただけるようにし、継続的な支援が円滑に行えるようにしていきたい。
- 学校応援の内容について現場のニーズを検証してさらに充実が図れるようにしていきたい。

5 コーディネーターより

今年度の小松川小学校学校応援団は安全安心に関する部門、図書に関する部門、行事での支援を行う部門、環境整備に関する部門、学習支援に関する部門の5つの部門が活動を行いました。保護者が中心となっている状況ですが、学年学級の枠を越えた関係が作れる他、子どもたちの普通の学校での様子が分かるなどメリットの多い活動であると考えています。今年はこれまでの実践を生かして、子どもたちがより活動しやすい環境を整えることで学校に協力していけるようにしてまいりました。今後は学習面をサポートする活動が十分にできていないという現状がありますので人材を集め、協力できるようにしていきたいと考えています。

6 学校長より

今年度も様々な方にお力添えいただくことができました。おかげさまで子どもたちにとって安全で実りの多い学習の場としていくことができましたことを深く感謝いたします。ボランティアが思うように集まらないなど課題点を解決しながら、今後も保護者や地域の方と力を合わせて子どもたちのためによりよい環境を整え、充実した教育活動を行ってまいります。また、近隣の都立小松川高等学校や東京情報デザイン専門職大学と連携し、音楽や外国語、ICTを通じた交流活動を日常的に行い、地域の教育力を活用してまいります。皆様におかれましても小松川小学校に通う「こまっ子」たちのためにご協力のほどよろしく願いいたします。

小松川第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

小松川第二小学校長 五十嵐 一嘉
コーディネーター 松本 樹也

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	9人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書ボランティア	月4回程度	9人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- (1) 学校が第二学校図書館の整備を進めたことでボランティアの活動につながる打ち合わせ場所などが整った。
- (2) ボランティアの読書推進活動により、児童の学校図書館来室人数が増加した。
- (3) ボランティアが年度当初から計画的に活動したことにより読書推進活動を実施できた。

< 課 題 >

- (1) ボランティア活動に係る費用のうち、備品整備にかかる費用の支出を行うこと。
- (2) ボランティア候補者の募集に係る業務の推進を十分に行うこと。

5 コーディネーターより

ボランティア事業の推進におきましては、学校教育に対する御理解のもと、活動していただきましたことに感謝を申し上げます。令和7年度に充実したボランティア活動の推進を支援してまいります。

6 学校長より

ボランティアの皆様には、今年度も本校の教育活動を支える多くの活動に参加していただきました。御礼を申し上げます。引き続き、児童の健全育成への御協力をいただけますようお願い申し上げます。

平井小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

平井小学校長 渡邊 法子
 コーディネーター 笠松 志保

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	492人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
スクールガード	・登下校時の安全見守り、旗振り（毎日）	4人
登校時旗振りボランティア	・登校時の安全見守り（毎日）	401人
読み聞かせボランティア	・各学級での本の読み聞かせ（月1回）	170人
おやじの会	・学校行事、PTA行事の支援（不定期）	30人

平井小学校学校応援団



PTA 平井小まつり



読み聞かせ



町探検出発式



登下校時の見守



ポッチャ交流

PTA・保護者

- ・読み聞かせ
- ・登下校時の交通安全指導（旗振り）
- ・親子安全見守り隊活動
- ・交通安全教室・自転車教室
- ・環境学習等校外学習の安全見守り
- ・地域パトロール

地 域

- ・登下校時の交通安全見守り
- ・荒川環境学習
- ・凧作り指導
- ・地域行事の準備、運営
- ・ポッチャ交流
- ・花いっぱい運動

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

「PTA平井小まつり」では、「楽しもう平井小まつり」をコンセプトに、これまで同様まつりを通したSDGsへの理解を目的に、エコステーションを設置して実施しました。当日は、校庭・体育館とたくさんの模擬店とイベントが催され、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただきました。大盛況であったという間に楽しい時間が過ぎていきました。また、平井小大ドッジボール大会(おやじの会主催)や、卒業記念イベントとしてのキャンドルナイトなど新しい企画も増えました。

3年生は、ひらイルミナルの方々とポッチャ交流会を開きました。4年生、5年生は、教室で交流授業を実施しました。ひらイルミナルの方から、さまざまな障害に関するお話をいただきました。一人一人の違いを認め合い、ともに手を取り合って生きていくことの大切さを学びました。読み聞かせボランティアによる読み聞かせを、昨年度よりも実施回数を増やして実施することができました。子どもたちは、どんな本を読んでもいただけるのか、開始まで期待に胸を膨らませ、読み聞かせが始まると、本の世界に集中する姿がたくさん見られました。読み聞かせを通して読書の幅を広げることもつながりました。

- 町探検や荒川の校外学習、凧作りなど、生活科や総合的な学習の時間に多くのボランティアの皆さんに子どもたちの引率をサポートしていただきました。子どもたちも安心・安全に学習することができ、充実した活動となりました。ボランティアの方々も子どもたちの引率を通して、地域や普段の子どもたちの姿とは違う新しい発見をすることができました。

< 課 題 >

- 読み聞かせボランティアの活動人数をさらに増やしていきたいです。
- ボランティアに参加される方が限定してきているため、募集方法を工夫する取組が必要です。スクールガードの方々が通学路に立って交通安全の見守りをしてくださっていますが、参加人数が減少傾向にあります。少しずつ組織の再編成をしていく必要があります。

5 コーディネーターより

地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、学校応援団としての活動が行われました。今年度は、これまでの取組内容も精選され、新しい企画につなげるなど工夫された活動ができました。PTA執行部・おやじの会をはじめ多くのスタッフが力を結集し、活動しました。「平井小まつり」では、飲食とともに体験コーナーも充実し、大いに盛り上がるまつりとなりました。ありがとうございました。

来年度も、幅広く充実した活動となるように尽力していきたいと考えております。今後も多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

6 学校長より

地域と共に歩む学校を目指す中で、登校から下校まで学校応援団の皆様には様々な教育活動を支えていただいております。日々の学校生活で見せる子どもたちの姿とは違った様子が、たくさんの場面で見られます。地域の中で身に付けた新しい力を、自身の成長に大いに結び付けてほしいです。常に進化する取組はいつも楽しみです。これからも、学校は地域・保護者・子供たちと社会をつなぐ場となるよう尽力して参ります。今後とも学校応援団の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

平井西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

平井西小学校長 藤澤 優子
コーディネーター 前澤 勝三

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	19人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
下校安全指導	週5回	2人
読み聞かせ	毎週水曜	15人
花壇の環境整備	不定期	2人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

見守り担当が横断歩道を見守り、児童が安全に下校することができた。三者協議会を開き、学校応援団下校見守り担当とPTA本部役員並びに生活指導主任をはじめとする教職員が、児童の下校時や放課後の様子について情報や課題を共有し、児童の健全育成に協働することができた。

読み聞かせでは、Teamsで、読み聞かせ活動の様子を動画掲載し、子供たちが、いろいろな本と出合える機会を増やすことができた。動画掲載の取組が2年目を迎え、ボランティアと教員保護者が読み聞かせの様子が見られるように日程を設け、参観することから取組についての理解と協力を呼び掛けることができた。

< 課 題 >

三者協議会で、校外での児童の挨拶が少ないという指摘を受けている。生活指導の一環として登校時、玄関で行っている挨拶当番の取組を行っているので、保護者や見守りの応援団の方等の大人へ挨拶できるようにしていく必要である。

見守り担当の方々の高齢化により学期途中から4名体制から2名体制となり、人数が少ない現状がある。学校応援団の継続と発展の観点から団員を確保することや新たな取組で団員を募る必要がある。

5 コーディネーターより

学校応援団では、毎日の下校の見守り活動をはじめとして、読み聞かせや花壇の環境整備などを行って平井西小の子供たちと深くかかわってきました。下校時の安全見守りは交通事故を防ぐだけでなく、挨拶をすることの大切さを伝えていきます。挨拶が増えることを願っています。見守りでは、団員が2名となり、見守りをしてくださる方が町会や保護者でいると助かります。

今後も学校、PTA、地域の方々が連携して、子供たちの健やかな成長のために少しでも協力ができるよう活動してまいります。これからもがんばりますのでよろしく願いいたします。

6 学校長より

平井西小学校では、長くから学校・家庭・地域の「共育・協働」を行っています。

読み聞かせは30年以上続く活動となっております。今年度、コロナ禍で見合わせていた夏休みのラジオ体操後の紙芝居を再開いたしました。紙芝居の前に子供たちが集まり、話に聞き入る姿が多く見られました。また、入学説明会では、読み聞かせの取組について説明し、新たなボランティアを募りました。

学校応援団の方々が、子供たちの安全や読書・自然を楽しむ環境を整えてくださっています。これからも、学校応援団の皆様とともに、「共育・協働」が続いていくことができるよう努力してまいります。

平井東小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長 大辻 隆夫
 コーディネーター 村田 新司



2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	52人
	学生ボランティア	1人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ応援団	月1回	21
図書整備応援団	月4回	15
環境整備応援団	不定期	10

平井東小学校学校応援団

地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・金管楽器演奏
- ・ナイトウォーク
- ・マラソン大会
- ・年末地域行事
- ・その他地域行事

PTA・保護者

- ・図書ボランティアによる活動
(月2回の読み聞かせ)
(週1回の図書室整備等)
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ(父親の会)による行事
- ・花壇、樹木、雑草、排水溝等の整備

すくすくスクール

- ・指導の一貫性
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大
(ウエルカムガーデン・カヌー教室・工作教室・車いすバスケットボール・ポッチャ他)



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

○「子供たちの読書の楽しみを広げ、子供たちと本をつなげる」を合言葉に、図書ボランティアを募り、年間を通し活動することができた。どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて「読み聞かせ」に聞き入る様子が見られ、確実に本好きな子供たちが育っている。

図書室の環境整備においても、巡回図書支援員と連携し、児童が本に慣れ親しんだり、調べ活動を行ったりする活動が効率的に行える場を作っていた。学校図書館に子供たちがすすんで来室し、「本を読みたい」「調べ学習をすすんで行いたい」という意欲をもって活動できる環境が整ってきている。

これらのことは、本校の教育活動の一環である「読書科」の充実にも大いにつながっている。具体的な活動としては、以下の通りである。

(読み聞かせ活動)

- ・朝の時間(15分)を活用し、第1学年から第6学年までの各学級を訪問し、読み聞かせを行うことができた。
- ・読む本は、図書ボランティアの方が学年の発達段階に応じ選定し、「読み聞かせ」の楽しさを子供たちに味わわせることができた。
- ・学年を縦割りにして、読み聞かせを行う学級を決めた。活動内容を工夫しながら、取り組むことができた。

(図書室の環境整備活動)

- ・学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行った。
- ・学校図書館の室内の掲示を工夫し、児童が読書に親しめるような環境作りを行うことができた。

○「環境整備応援団」として、学校の草花・樹木・校庭の側溝・排水溝の整備を行った。活動の中で、普段目につかない段差や枝に気付き、安全な環境を整えることができた。

○4年生の総合的な学習の中に位置付けている本校の特色の一つである「荒川環境学習」には、児童が「互いに考え、楽しむ」という活動が実現できるような支援をしていただくことで、実際の現地である荒川でも、安全で充実した活動が展開できた。

○運動会の準備や後片付けの作業に、「パパスクラブ」をはじめとするPTAの方、保護者の方の協力が大変多くあった。「学校を応援したい」という気持ちを持つ方が多く、学校を支えていただいていることがよく分かり、大変ありがたい。

< 課 題 >

○「読み聞かせ応援団」は、年々人数が減り、ボランティアが集まりにくくなっている。子供たちにとって有意義な活動なので、多くの方に参加していただけるよう、保護者会などで活動内容を広め、教職員も積極的に呼びかけていく。

○読み聞かせ活動や図書室の整備活動等、図書に関わること以外にも、PTA活動とリンクさせ、新たな取組を考えていくことを今後検討していきたい。

○応援団の活動の様子を学校ホームページ等で紹介し、その活動を広く周知していくようにする。

○学校応援団は、組織編制上の課題として、子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーの方もいる。無理なく多くの保護者の方や地域の方(卒業生の保護者含め)が学校応援団として、参加できるように、組織編成においても今後工夫していく必要がある。

5 コーディネーターより

PTA 活動と学校応援団が連携し、活動に取り組みました。特に、運動会においては、朝の準備から片付けまで、学校行事の一日を支援することができました。このブロックである小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くあります。これからも、本校児童「ひがしっ子」の身心共に、健やかな成長のために、互いに協力し合いながら、「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思えます。日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。

6 学校長より

平井東小学校は、子供たちの学校生活や学習活動を支援して下さる「学校応援団」の皆様によって、大きく支えられています。

本校では、読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間がありますが、その中で、「読み聞かせ応援団」の皆さんが月に1回参加して下さる日があります。子供たちは、その時間を大変楽しみにしております。「読み聞かせ応援団」の皆様が選定して下さる本も子供たちにとってはどれも楽しい内容ばかりであり、大変ありがたいです。

さらに、「図書整備応援団」の皆さんは、定期的に図書室に集まり、本の整備をはじめとした、子供たちが活用しやすい図書室を目指し、環境作りを工夫してくださっています。

また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では、地域の方が講師となって、荒川について教えてくださいました。その活動で、4年生の児童が、荒川に出かけて活動をする際の安全の確保としては、保護者の方々が見守りに来てくれており、これも大変ありがたいです。

このように、平井東小学校を愛する保護者・地域の方々が、学校応援団として活躍して下さることを大変ありがたく思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

平井南小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

平井南小学校長 岡田 盛雄
コーディネーター 阿部 美代子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	1人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校安全見守り隊	登校日毎日 登校時の安全見守り	15人
クリーン作戦世話人	年2回 地域清掃	21人
読み語りの会	月1回 学級に入って読み語り	11人
平和学習指導	年1回 平和学習・灯籠づくり指導	3人
学習支援	不定期	1人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

「登校安全見守り隊」の活動では、15 人にのぼる地域の皆様に、毎朝所定の交差点に立っていただき、児童の安全を見守っていただいています。登校時刻に往来する車や自転車に横断機で合図を送るなど、子どもたちの登校を助けていただくことができました。また、登校する子どもたちに「登校安全見守り隊」の方々から必ず「おはようございます。」と声をかけていただくなど、継続的に挨拶指導を行っていただきました。このことを通して、子どもたちの挨拶に対する意識や、地域への帰属意識などを高めていくことができていると感じています。また、通行中の方にも率先して声をかけていただくなど、不審者等の防犯対策としても効果を感じています。

「クリーン作戦」では、20 町会・自治会あまりの地域の方と学校近隣の地域清掃に取り組みました。学校と地域との交流や清掃活動を通して、地域に対する理解や地域を愛する心を醸成していく機会の大切さについて改めて強く感じました。

「平和学習」では、旧中川灯籠流し実行委員会の方をお招きして東京大空襲の戦火にさらされた平井・小松川地区の当時の状況を知る方に直接お話していただきました。戦争の悲惨さや平和の尊さについて学ぶ大切な機会になっていると感じています。

「読み語りの会」の活動では、11 人の地域の皆様に月 1 回、各学級での本の読み語りをしていただいています。毎回、読み語りをする本が重ならないように連絡を取りながら様々な本に触れられるようにしていただいています。読み語りに聞き入る子どもたちの様子からは、読み語りの機会を楽しみにしている気持ちや読書に対する意識の高まりを感じます。

「学習支援」では、今年度本校で教育実習に取り組んだ大学生が子どもたちの学習や学級の支援にあたっています。教員を目指している方が学校での支援を通して経験を積んだり学んだりする機会にもなっており、今後、大学等の教員養成機関との連携や協力体制を作っていくことも考えたいです。

< 課 題 >

各種の応援団では、常時協力者を募集していますが、新規協力者がなかなか集まらない状況が続いており、引き続き方法を工夫して勧誘をしていきます。

学校応援団の皆様に気軽に活動していただける環境を整え、特に学生から子育て世代を含む協力者の拡充が必要だと感じています。このことを踏まえ、持続的・発展的な学校応援団の活動について、幅広く検討していくことが課題となっています。

5 コーディネーターより

学校応援団の皆様のご協力の下、今年度も学校や子どもたちの活動を支援することができました。今後も支援体制の充実に向け、団員同士が交流できる機会の設定や、学校との連絡体制の整備など、団員同士のつながり、学校との連携を更に深めていきたいと考えています。

6 学校長より

地域の方々を中心とした学校応援団の皆様の多大な支援に心から感謝いたします。温かい地域の皆様と共に歩んできたのが、平井南小学校です。これからも、団員の皆様をはじめ、保護者や地域の皆様からの応援をいただきながら児童のより良い成長のため、教職員一同、精一杯努力して参ります。ご協力の程、よろしく願いいたします。

松江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

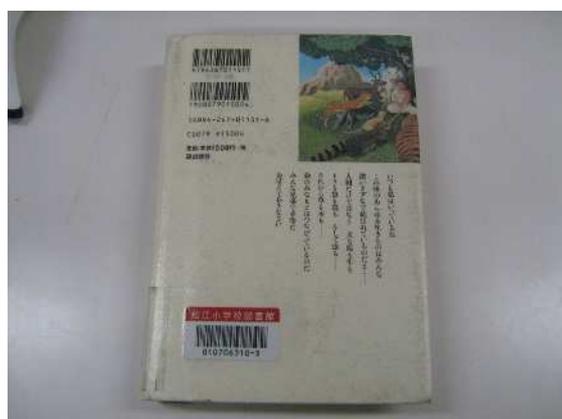
松江小学校長 大須賀 慎一
 コーディネーター 八武崎 秀紀

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	不定期（およそ2週に1日）	20
読書ボランティア	不定期（およそ2週に1日）	20
読み聞かせボランティア	不定期（およそ2週に1日）	10



4 今年度の成果と課題

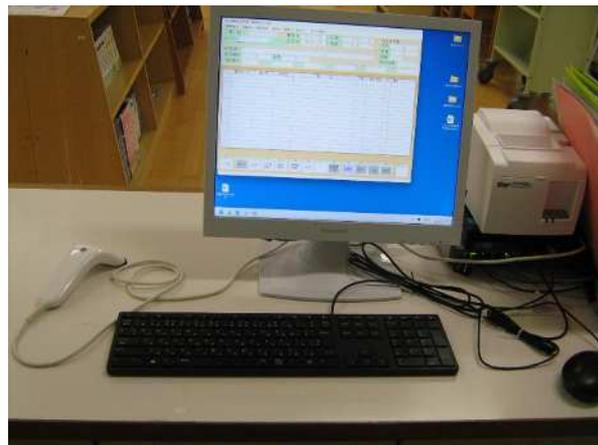
< 成 果 >

- ・「読書ボランティア」が蔵書の整理や季節ごとの飾りづくりなどに取り組んでいただいた結果、図書室の雰囲気明るく、本に親しめるすてきな環境に変わった。

今年度よりバーコード化が始まり、図書室や本の整備について協力をしていただいた。

また、松江図書館に出掛け、団体貸出し用の図書選定をしていただいた。毎月、その時期にふさわしい読み物や学習に関連した図書が届けられ、子供たちの本に親しむ姿勢も高まっている。

- ・読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせは、低学年が中心だが、子供たちにとって楽しい時間の一つとなっている。
- ・花の苗植えなど、学校環境美化についても協力できた。



< 課 題 >

- ・それぞれの活動内容を明文化し、毎年、計画的に活動できるようにしていく必要がある。
- ・地域の方々の人材把握。連絡手段の確立する必要がある。
- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく。

5 コーディネーターより

「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、子供たちの安全を中心に、そして子供たちが、安心して楽しい学校生活を送れるよう支援するために発足しました。今年も大きな事故や事件に巻き込まれず、子供たちが安全に過ごせたことが何よりです。松江小学校を、地元商店街や地域の方々にご協力いただき、さらに活気に溢れた学校にしていきたいと思えます。

6 学校長より

松江小学校の学校応援団は、子供たちの安全・安心の見守りを第一に、保護者や地域の皆様が地道な活動を展開してくださっています。読書ボランティア活動が一層組織的な動きとなり、活動が高まってきています。おかげさまで、本好きな子供たちが増えています。

既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちのために良い環境を作ることができています。子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するためにも、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思っております。今後も、子供たちの伸びや高まりを目指すとともに、本校の「共育・協働」をさらに一層進めていきます。

西一之江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

西一之江小学校長 川浦 孝彦
 コーディネーター 笠松 健

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	150人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア 「本はともだち隊」	図書整備：休み時間 及び 夏休み期間 の2日間	16人
	読み聞かせ：各学期1回(6月10月1月)	44人
父親ボランティア 「イクメンジャー」	校内外パトロール：学校公開など行事時の不定期 昆虫飼育など教育活動支援/鼓笛隊の地 域行事でのパレード参加への協力：不定期	20人
安全指導	登下校見守り：不定期	100人
行事支援	学校行事・PTA行事支援：不定期	80人

図書ボランティア「本はともだち隊」
本の読み聞かせ



カブトムシ小屋の整備



登校時の見守り

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・図書ボランティア「本はともだち隊」は図書室整備と読み聞かせの活動を行ってきた。読み聞かせは、6月・10月・1月に企画し、本を使うところ・大型モニターを使うところの工夫が見られた。今年度は、ボランティアの方の周りに集まって聞くようにして実施することができた。
- ・父親ボランティア「イクメンジャー」の活動としては、昆虫飼育小屋の整備、行事での見守り活動、鼓笛隊の地域行事でのパレード参加への協力、西一フェスタ企画への協力があげられる。
- ・本校の昆虫飼育小屋では毎年800匹以上のカブトムシの飼育を行っており、父親ボランティア「イクメンジャー」を中心に、児童・保護者・教員が毎年春から初夏にかけて幼虫を掘り起こし、土の入れ替えと幼虫の数を数えている。今年度は624匹の幼虫を掘り起こすことができた。3年生が自然観察用に一人一匹配布し、飼育委員会で他の幼虫を飼育することができた。
- ・登下校時の保護者、地域の方の見守りの強化では、保護者・地域の方の協力を得ることができ、事故を減らすことにつながっている。また、登校時だけでなく下校時や放課後も危険であることを再認識し、交通安全を中心に呼び掛けることができた。(学校応援団以外にも、地域ボランティアによる見守りも実施され、連携していただいている。)

< 課 題 >

- ・人材確保が毎年の課題である。父親ボランティアの活動する場が少なく宣伝する機会が少なかったため人材確保が難しかった。学校管理職やコーディネーターが変わっても継続して行うことができること、世の中の情勢にも柔軟に対応できるように確実なものにしていくことが課題である。
- ・また、登校時のみでなく下校時や放課後の見守りを学校応援団の方々の力を借りて充実させていくこと、児童の学力向上や体力向上につながる活動の充実を図ることも視野に入れていきたい。

5 コーディネーターより

- ・西一之江小学校では学校応援団としての活動がスタートしてから14年になる。4月のカブトムシ小屋整備、6月の体育科学習発表会への協力を行うことができた。文化的行事の「西一さくらっこまつり」、鼓笛隊の地域行事でのパレード参加への協力も行うことができた。今後も応援団の活動を広く周知しながら「西一応援団」の輪を広げることに努めていきたい。多くの方々のご協力を仰ぎ、児童の安心・安全、笑顔のために、全力投球で学校、地域、保護者と力を合わせて取り組んでいく。

6 学校長より

- ・本校は、「明るい学校」「楽しい学校」「魅力ある学校」を教育方針の柱とし、「笑顔」「元気」「思いやり」あふれる学校づくりを保護者や地域の皆様と協働して進めている。具体的には、「各教室での読み聞かせ」「昆虫飼育支援」「鼓笛隊の地域行事でのパレード参加」等多岐にわたる教育活動でご支援いただき、学習支援や環境整備、健全育成等、様々な面で教育効果を上げてきた。
- ・今年度は、地域の皆様の登校時の見守りも定着してきたことで、児童とボランティアの皆様とのあいさつの輪も広がってきた。また、保護者の方の付き添いや見守りも増え、子供たちの安全は、地域、保護者、大人たちが守るという意識の高まりを感じた。
- ・管理職やPTA会長が代わっても、地域の皆様の学校に対する熱い思いは、開校当時から今日までしっかりと引き継がれ息づいている。学校、地域、保護者が協働して、子供たちに郷土愛や愛校心を育む機会をつくり、「西一応援団」の更なる充実を目指していく。

西小松川小学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

西小松川小学校長 落合 由美子
 コーディネーター 塚原 一希

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	113人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守りボランティア	毎朝、校門前等で児童の交通安全の見守りと、挨拶等の声掛けをする。	2人
下校見守りボランティア	4月末ごろまで、1年生の下校時の見守りと、声掛けをする。	30人
校外学習（行事）見守りボランティア	遠足や生活科見学等の校外学習時に、安全を確保し教員の指導の補助を行う。	50人
ブラスバンド練習ボランティア	週に3回、練習時の安全見守りと教員の指導の補助、出欠確認を行う。	5人
図書館整備ボランティア	週に1回、本の整理や修理修繕、季節に合った壁面装飾などをする。	7人
読み聞かせボランティア	月に1回、朝読書の時間に、各クラスで本の読み聞かせをする。	10人
環境ボランティア	畑を耕す、種を撒く、苗を植える等の花壇の整備に関わる作業をする。	1人
昔遊びボランティア	2年生の生活科において、コマ、けん玉、お手玉、おはじきなどの昔遊びを教える、	8人

登校見守りボランティア



読み聞かせボランティア



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

1・2年生の生活科の校外学習や全校遠足で、校外学習（行事）見守りボランティアの方に教員の指導の補助や安全見守りをしていただき、児童が安心して活動することができた。

読み聞かせボランティアに、学年の実態に応じた本を選んでいただき、読み聞かせ後には本の記録を残していただいた。これにより、担任が読み聞かせする際の参考にすることができている。

○図書館整備ボランティアの方には、週に1回、本の整理や修理、壁面装飾などを行っていただいたことで、児童の読書環境を整えることができた。

○プラスバンド練習ボランティアの方に、週に3回、練習時の安全見守りと教員の指導の補助、出欠確認等を行っていただき、活動を円滑に進めることができた。

< 課 題 >

学校応援団の活動を今後も継続させていくため、活動内容の記録や引継ぎを確実に行いたい。

学校ホームページや学校評議員会等を通じて、学校応援団の活動を紹介し、ボランティアに参加していただける人材の発掘に力をいれていきたい。

5 コーディネーターより

地域の皆様やPTAの皆様をはじめとするボランティアの方々の活動を拝見し、たくさんのご支援をいただいていることを実感するとともに、多くのボランティアの方々の活躍により、学校教育活動に協力できていることを大変うれしく思います。

今後も今まで以上に、学校と保護者、地域の方々を結び付けることに注力して、子供たちが、より充実した学校生活を送れるよう、活動を続けていきたいと考えています。

6 学校長より

校外学習や体験的な学習の機会が増える中、本校の教育活動が多岐にわたり展開できますのも、ボランティアの皆様のお力添えによるものと感謝しております。学校全体、または、各学年の活動や学習のめあてについて、ご理解いただきご協力いただくことで、子供たちは安心して学習に取り組むことができしております。

コロナ禍で途絶えてしまった元保護者の方や、応援団の方々のボランティア活動が再開できたことは何よりです。これをきっかけに、元保護者の方々の活動を広げていきたいと思っております。地域に愛され大切にされている学校だからこそと思い、ボランティアの皆様・地域の皆様の期待に応えられますよう、さらに子供たちと共に頑張ってまいりたいと思っております。

今後も、子供たちの安全安心な学校生活のために、多くのお力をお貸しいただけますよう学校の教育活動の様子を学校HPや学校だより等で、保護者の皆様・地域の皆様に発信してまいります。

大杉小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

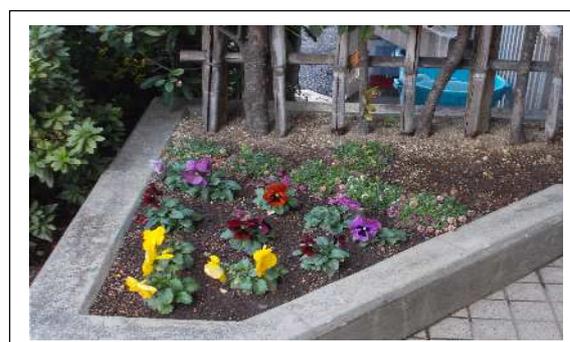
大杉小学校長 藤田 曉美
コーディネーター 池田 政弘

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	20人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
行事の支援	不定期	10人
登下校見守り	週5回・各学期1回集団下校	2人
環境整備	不定期	8人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年度は6月に本校児童の交通死亡事故があった。「二度とこのような悲しい事故は起こさせない」と、学校応援団の方を中心に徹底した登下校の見守りをしていただいた。毎朝に加え、集団下校時も、信号のない横断歩道を中心に危険個所に立っていただき、児童だけでなく、保護者にも大きな安心感を生んでいる。

環境ボランティアは、今年度「学校花いっぱい活動」の計画を見直し、学校敷地内にある花壇にあらゆる花を植えるようにした。1年を通して、玄関や校庭の花壇に季節感のある花で満たすだけでなく、各学級にも育てた花を飾り、農林水産省が推奨している「花育」を実施していく第一歩を踏み出せた。

大杉まつりでは、模擬店や安全管理を担っていただき、安全に行事の運営ができた。

< 課 題 >

- 花に偏重しすぎる部分があるため、会議をもち、違った形で学校応援団の取組みを考えて行く。
- 学校応援団のメンバーが長年継続しているため、来年度は大幅に刷新していく。現在コーディネーターの池田さんと話をしている。

5 コーディネーターより

- 学校と地域の連携を密にするコーディネーターとしての役割を果たすべく、学校行事や町会の行事等を通して、子供たちと触れ合う機会が多くありました。子供達の成長を間近に見る度に、「やっていてよかった」とその職責を果たせたと感じています。来年度は構成メンバーが大きく変わる予定です。新たな提案、新たな取組を学校側の要望を聞きながら、これからも「子供たちのよりよい成長を願って」学校応援団の皆さんと力を合わせて、努めてまいります。ありがとうございました。

6 学校長より

学校応援団の皆様には、本校の児童が日頃からたいへんお世話になり、心から感謝申し上げます。全ての児童が安全に過ごせますのも、ボランティアの皆様のご尽力のお蔭です。1年間、毎日、また、適時にご協力を賜り、親身にお世話をいただいたことは、子供たちの心に温かな思い出として未永く残ります。私は、今年度異動して来ましたが、この学校応援団の皆様のお力を本当にありがたく思っております。6月の本校児童の交通死亡事故、その際に徹底した登下校の見守りをしていただきました。本当に心強く、ありがたかったです。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

大杉第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

大杉第二小学校長 笠井 三恵子
 コーディネーター 田崎 國男

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	157人
	学生ボランティア	1人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	月2～3回	20人
登校班及び旗振り	常時	50人
ふれあいウェンズデイ	毎週第3水曜日	25人
読み聞かせボランティア	月1回(朝読書)	18人
学校図書館ボランティア	年間(随時)	9人
学校内外清掃環境整備	年間(随時)	20人
杉二サポーターズ (児童の安全等サポート)	年間(随時)	15人

読み聞かせ
ボランティア



ふれあい
ウェンズデイ



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

「見守り隊」の活動は、年間25回実施している。12月現在、予定通り18回実施することができた。1月以降も計画通り実施する予定である。1年生の下校に付き添って見守っていただいたことで、1年生の児童が安全・安心に下校することができた。また、下校状況の報告から安全指導を行うことで、児童の交通安全に対する意識を高めることができた。

見守り隊の活動は、五北町会及び大杉町会等の有志の方が地域の子供たちの下校時における安全を守るため18年間継続して活動し、今年度も続けられていることが、大きな成果である。

児童は通年、「登校班」で登校している。登校中、PTAの方が毎朝旗振りを行うことで、安全・安心に登校することができた。

学校図書館ボランティアの活動は、学校図書館の整備や児童への読み聞かせを通して児童の読書活動を充実させることができた。児童の発達段階に応じて選書し、児童が本に親しむ貴重な時間とすることができた。

< 課 題 >

ボランティア活動に取り組んでくださる方は、意欲的に活動をしてくださっているが、固定化する傾向がある。今後も、活動を継続してくださった方に加え、新規加入者を増やし、活動を継続することや活動の幅を広げていくことが課題である。

5 コーディネーターより

大杉第二小学校学校応援団は、「できるときに」「できる人が」「できることを行う」ことをモットーに自分の意志で積極的に大杉二小の子供たちのために活動しています。

活動を通して、地域の人がお互いにつながりを深めるとともに、児童にとって、地域にとって、よりよい環境づくりを目指しています。「見守り隊」は、五北町会・大杉町会・保護者の方など、常時20名程度のボランティアの方々が、学校から自宅まで1年生の下校を見守りながら送っています。

「ふれあいウェンズデイ」では、子供たちと工作やゲーム、折り紙等を通して、ふれあいを楽しんでいます。

「見守り隊」と「ふれあいウェンズデイ」の活動は、子供たちの健全育成に貢献する活動であり、私たちの誇りです。今後も、学校、家庭、地域が一体となったボランティア活動を推進することを通して人と人との絆を結んでいくためにも、協力を惜しまない応援団でありたいと思います。

(田崎 國男)

6 学校長より

大杉第二小学校は、1975年(昭和50年)の開校よりこれまで、町会やPTA・PTAのOBの方々・地域近隣の皆様に厚く支えていただいております。その中でも、大杉第二小学校応援団は、様々な分野のボランティア団体の皆様から組織されています。学校応援団田崎代表のお言葉にある通り、本校の学校応援団は「できるときに、できる人が、できること」を児童のために行ってくださっています。今後も引き続き、大杉第二小学校の子供たちの健やかな成長のためにボランティアの方々のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(笠井 三恵子)

第三松江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第三松江小学校長 小松 広宣
 コーディネーター 椎橋 治美

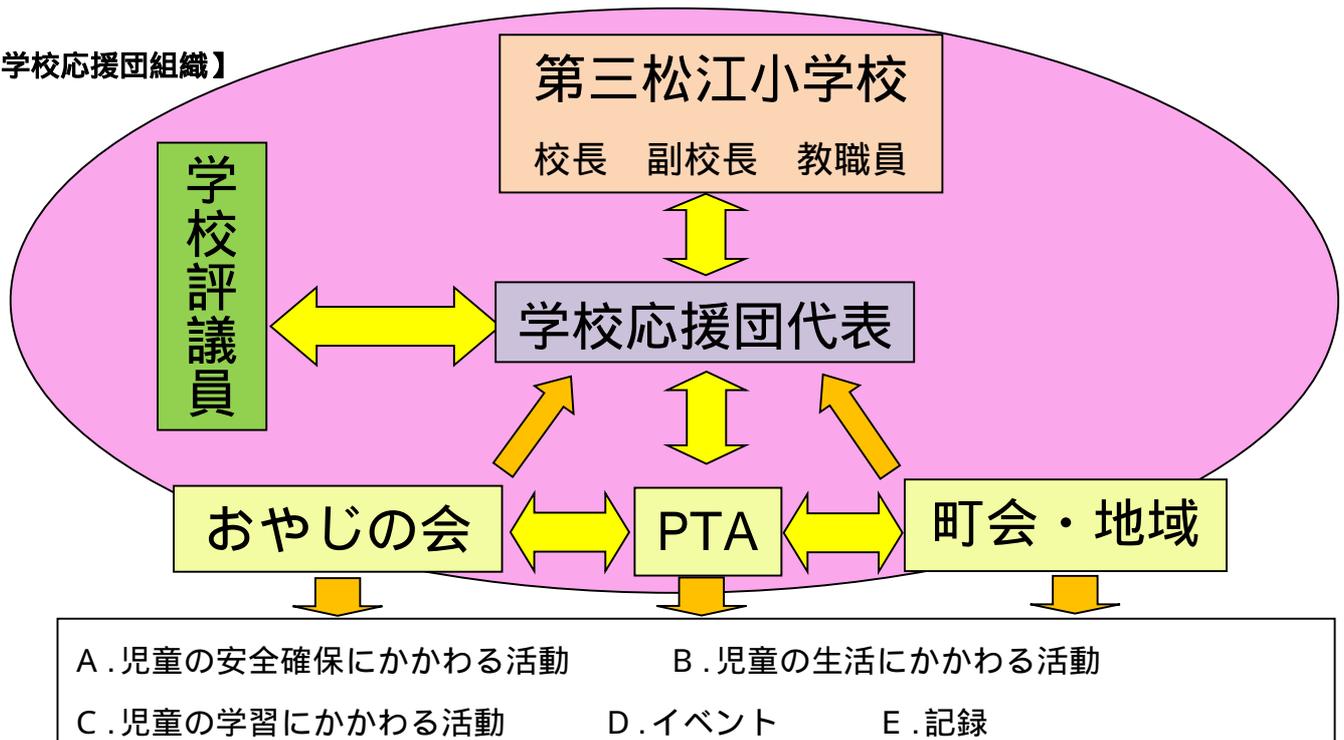
2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	148人
	学生ボランティア	1人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	月1回	43人
図書ボランティア	月3～4回	21人
イベントボランティア	不定期	82人
動物飼育ボランティア	不定期	2人

【学校応援団組織】



4 今年度の成果と課題

< 成果 >

(1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守りは、通常登校開始より毎日しっかり行われた。読み聞かせは、多数のボランティアが登録し、すみれ学級を含む全学級(29学級)で月に1回は読み聞かせ活動を行うことができた。また、学校図書館の環境整備の活動は、充実したものになった。児童が読書活動を行う上で、とてもよい環境を整えることができた。

(2) おやじの会のイベントの充実

本校のおやじの会は、6月の「おやじんピック」、10月の「学校宿泊会」、2月の「おやじランド」、3月の「6年生を送る会」の4回のイベントを行っている。今年は、2月のイベントと合わせて「三松グランプリ」も実施予定。

子供たちのために一生懸命準備をするおやじの会メンバーの熱意が感じられる活動であった。



おやじんピック

< 課題 >

今年度は学生ボランティア(学習支援)の確保が難しかった。今後、地域や保護者の方々とのかかわりを増やしながらかネットワークを広げ、幅広い年齢層の応援団を組織し、新しい活動も取り入れていくことを計画したい。また、地域の方々にも学校応援団の存在や活動内容を周知し、協力を依頼できる体制を整えたい。

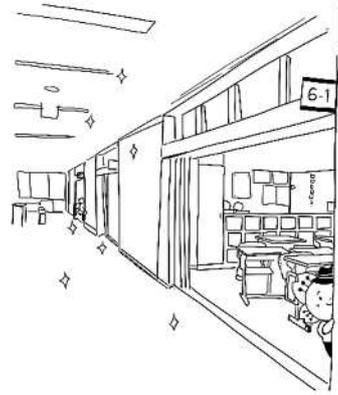
5 コーディネーターより

今年度の活動を振り返り、応援団員である保護者・PTA・おやじの会・地域や町会の皆さまにお礼を申し上げます。コロナ感染予防対策をした上での実施は課題も多かったと思います。大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。今後も、より「安心・安全な学校」になるよう、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



6 学校長より

今年度もコーディネーターの椎橋治美さんをリーダーとして、1年間、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。本校の応援団活動のよいところは、PTA、おやじの会、地域や町会の連携が素晴らしく、そこに全く垣根のない点にあります。この一体感こそが、本校の教育活動を根底から支える大きな力になっていると常々思っております。どうぞこれからも引き続きご支援、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。



大杉東小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

大杉東小学校長 高橋 真
 コーディネーター 水越 晃



2 ボランティア数（令和7年1月末現在）

見守り隊

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	毎日	32人
図書館整備	毎週火曜日	6人
読み聞かせ	不定期(月2回)	9人
サポーターズ	花火大会(年1回)	13人

大杉東小学校学校応援団

地域・町会

- ・見守り隊
- ・学校行事補助

PTA・保護者・サポーターズ

- ・見守り隊 ・登校見守り(旗振り)
- ・学校図書館整備 ・読み聞かせ
- ・学校行事補助
- ・東っ子ゲーム大会
- ・花火大会

すくすくスクール

- ・絵手紙教室



図書館整備



寄席



学校行事補助



東っ子ゲーム大会

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・「見守り隊」は、小松川警察署交通課交通総務課「通学路安全呼びかけ隊」と兼ねて活動しています。地域の方や保護者が、登校の際に、信号機のない横断歩道や危険な場所に立ち、見守りを行っています。「登校見守り（旗振り）」は、保護者が当番制で旗振りを行っています。子供たちは、毎朝地域の方や保護者に見守られて安心・安全に通学することができ、1年間交通事故はありませんでした。
- ・学校図書館整備では、「図書ボランティア」が、毎週火曜日に、学校図書館内の掲示や本の修理等の活動を行っています。季節を感じる掲示物が飾られた環境の中、子供たちが楽しく快適に図書館を利用することができました。また、「読み聞かせボランティア」が月に2回程度、各学級に読み聞かせを行っています。子供たちが本に親しむきっかけになっています。
- ・サポーターズによる「花火大会」は、松江第四中学校で夕刻に保護者同伴で行いました。「東っこゲーム大会」は、小学校の体育館でカップスタッキングやストラックアウト等のゲームを行いました。親子で参加し、一緒に楽しんだり絆を深めたりする様子が見られました。また、学校の友達とどのように関わっているのかを知る良い機会になったとも思います。

< 課 題 >

学校応援団の活動には、長年継続されているものが多くあります。「学校や地域、保護者がより連携できる活動は何か。」という視点をもちながら、それぞれに負担が掛かりすぎないように、成果が高いものは継続し、低いものは改善したり廃止したりしていくことが今後の課題だと思えます。

5 コーディネーターより

今年度も、松江第四中学校の校庭をお借りしてサポーターズが花火大会を行い、たくさんの方に参加していただきました。ありがとうございます。来年度は、大杉東小学校の校庭が完成するので、新たな催し物も企画しようと計画しています。

学校と地域・家庭を結ぶお手伝いをし、子供たちが地域の一員としての自覚がもてるよう協力して育てていきたいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

代表 水越 晃

6 学校長より

2年間の仮設校舎生活を経て、4月から新校舎で学校生活をスタートさせることができました。4月の始業式では、進級の喜びに加え、きれいな体育館や教室を喜ぶ子供たちの姿が印象的でした。また、6月からは、見晴らしの良い屋上プールで水遊びや水泳に励みました。ただ、校庭が全く無い1年間となったため、子供たちにはこれまで以上に制限がかかりましたが、学年スペースや広くなった体育館などで、工夫して遊びや運動に取り組みました。そんな1年間でしたが、学校応援団の皆様のサポートにより、今年度も子供たちは活発な学校生活を送ることができました。特に、見守り隊の皆様や旗振り当番の保護者の皆様のお陰で安全に登下校ができています。令和7年度からは、集団登校をやめ、年間を通して個人登校となります。これからも子供たちを温かく見守り、応援して下さるようお願い申し上げます。

3月には校庭も完成し、新しい大杉東小の幕開けとなります。今後も学校は、「地域とともに歩む学校」「児童・保護者・地域の信頼に応える学校」を目指し、努力してまいります。

校長 高橋 真

東小松川小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

東小松川小学校長 高木 伊織
 コーディネーター 尾崎 守男

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	88人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
蓮田栽培支援	4月(蓮植え) 11月(蓮掘り) 不定期(蓮の世話)	28人
図書整備ボランティア 読み聞かせ	毎週木曜日 不定期	20人
学校行事支援	不定期	28人
おやじの会(行事支援)	不定期	12人

活動の様子



[蓮の栽培活動]

[図書ボランティア]

[学校行事支援]

校庭整備中のため不便なことも多かったですが、今年も立派な蓮を収穫することができました。また、新築の校舎の中でも、ひと際明るいガラス張りの図書室に、ボランティアさんが季節に合った装飾をしてくれています。学校行事では、受付や行列の整理などに、みなさん汗を流してくださっています。

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年度は、9月より新校舎に移転しました。引っ越し作業にもたくさんのPTAの方々がお手伝いに駆けつけてくれました。そんなあわただしい一年の中でも、本校の伝統である蓮田の活動を継承するため、蓮田を守る会の皆様やPTAの本部役員の皆様、おやじの会やボランティアの皆様に多くのご支援ご協力をいただきました。そのおかげで、4年生の代表児童による蓮植えや全校児童が蓮田の活動を見学することができました。学校が新しく生まれ変わる中、長年続いている伝統行事を学校応援団の皆様のご協力により継承することができました。

PTA本部役員をはじめ、ボランティアの方々の協力により、近隣校での運動会の実施準備、学習発表会での保護者の誘導、学校公開での受付などご支援いただきました。大きな混乱がなく行事を成功できたことに大変感謝しています。

図書ボランティアの方々が、松江図書館司書と共に新しくなった図書館の整備や飾りつけを行ってくださり、学校図書館が活用しやすく、子供にとって楽しみな場所になりました。

< 課 題 >

蓮田の中での作業は大変体力がいるものであり、ご年配の方にこちらが依頼することが難しいと感じます。

ボランティアの方が固定化する傾向にあります。また、活動内容によっては、ボランティアの方の確保が難しいこともあるので、プリントだけでなくtetoru等も活用して、より多くの方に関わっていただけるように働きかけていきます。

5 コーディネーターより

今年度も、新校舎移転と校庭建設工事のため教育活動に制限が加わった中での応援団活動となりました。このような中でも、蓮田活動や図書ボランティア・学校行事支援等、学校応援団の皆様のご協力により、状況に応じた活動を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。今後もコーディネーターとして、地域の皆様・保護者の皆様にご協力をいただきながら活動の幅を広げ、児童がより安全に楽しく学校生活を送れるよう尽力したいと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。

6 学校長より

新校舎が完成し、9月より教育活動を始めることができました。そのような目まぐるしい変化の中で、今年度も蓮田を守る会をはじめ学校応援団の皆様のご協力により蓮田活動を継続して行うことができました。蓮田の周りには、掘り起こされた土やがれきが散乱している中での蓮堀りとなりましたが、これまでと同様に立派な蓮に育ち、本校の良き伝統と地域とのつながりを児童に伝えることができました。また、近隣校での運動会や学習発表会での児童の安全管理と保護者の受付・誘導、図書ボランティアや学校公開での受付など、実に多くの皆様に教育活動を支えていただきました。年間を通して本校の教育活動を支援していただきましたことに感謝申し上げます。今後も皆様のお力をお借りしながら、教育活動をさらに充実させてまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

船堀小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

船堀小学校長 山下 靖雄
 コーディネーター 田中 寿士

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	645人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	月2回	20人
おはなしボランティア	週1～2回	20人
安全見守り隊	週5回(月～金曜日、土曜授業日)	2人
おたすけ隊	不定期	40人

「おはなしボランティア」

「お話会」



「学校図書館ボランティア」

「船堀小ガーデンボランティア」

「安全見守り隊」



4 今年度の成果と課題

成 果

- ・おはなしボランティアによる読み聞かせを定期的実施でき、読書へ親しむよい機会となっている。読み聞かせてもらった本を図書室で探して、もう一度自分で読み返したり、関連する本を借りて読んだり、読書への関心にもつながっている。
- ・学校図書館ボランティアによる図書室の整備がすすみ、落ち着いた温かな環境で本に親しむことができているとともに、修理していただいた本を手取る中で、物を大切にしてほしいというメッセージを受け取ることができている。
- ・おたすけ隊による校内の装飾や掲示物の整備がすすみ、楽しく学習を行うことができている。
- ・自由登校においける毎日の登校見守りを、旗振り当番を中心に行い、児童の安全を守っていただいている。
- ・「船小まつり」、「おやこ運動会」、「映写会」、「プール」、「夏フェスタ」、「逃走中」、「餅つき」、「ガチンコ対決」など様々なイベントを開催することができた。

「船小まつり」



「餅つき」



< 課 題 >

- ・学校応援団と児童の交流活動を学習の一環として計画することで、より地域の一員としての思いを持てるようにしていきたい。
- ・学校応援団と教職員の連携について意図的・計画的に進めていくとともに、休日や週休日などの運営で教職員の負担増にならないよう配慮していかなければならない。

5 コーディネーターより

保護者や地域による子供たちとの係わりは、子供たちにとってかけがえのない体験となり、地域への愛着となります。学校と連携し子供たちを地域で見守り、地域で育てていければと思います。引き続き子供たちの心身の成長を豊かにする取り組みを行っていききたいと思います。

6 学校長より

多くの体験活動の中で「地域を愛し、次の時代を担う意識」を育むために地域の自然や施設、文化を地域教材として、それらを知り尽くしている学校応援団のお力を借りながら、子供たちの興味関心を高めることができました。学校応援団の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。引き続き、来年度以降もどうぞよろしく願いいたします。

船堀第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長 則岡 小織
コーディネーター 生井 敏昭

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	4人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
体験活動支援 親児の会 P T A	ウォークラリー(4月) サマーキャンプ(7月) 縁日風 花火大会(10月) 餅つき大会(12月) 焼き芋大会(3月(予定))	14人
登校見守り	週5回	20人



様々な模擬店には、長～い列ができることも。活気があふれています。
朝早くから準備してくださった皆様、ありがとうございました。

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 今年度は昨年度よりも活動が増え、より多くの方々に参加していただくことができました。
- 4月には新1年生を対象に、親子で学校の周りを歩くウォークラリーを実施しました。入学して間もない1年生が学校の近くにある公園を回りました。所々にクイズもあり、楽しんでもらえた様子でした。
- 7月のサマーキャンプでは、学校の中でテントを張ったり、手持ち花火で楽しんだりするなど、子ども達にとって貴重な体験となりました。
- 10月には、「縁日風 花火大会」、12月には「餅つき大会」を実施し、笑顔で楽しむ子供たちの姿を見られました。
- 登校見守りボランティアの方々には、児童の登校の様子等を見守りに加え、通学路で危ない箇所はないか実際に見た上でのご意見もいただき、今後の生活指導にも役立っています。

< 課 題 >

お子さんが卒業すると、応援団の皆さまも引退、というケースが多く見られます。活動を支えてくださっている方々が減ってしまうのは、大変な痛手です。より多くの子どもたちの笑顔を作るためには、地域・保護者の方々の理解が必要です。児童に楽しい体験をさせるためにも、引き続き皆様のご協力をお願いしたいと思いますとともに、新たにお力を貸していただける方々の参加をお待ちしております。

児童の登下校の安全を守るためには、大人の見守りが必要不可欠です。車通りの多い場所や、見通しの悪い所など、事故や事件を未然に防ぐためにも、より多くの目があると安心です。

5 コーディネーターより

船二小の学校応援団としては、地域と協力して子供たちが安全に過ごせる街を目指しています。船堀は古くからの歴史ある地域としての面と、駅を中心とした新しい発展をとげた面をもち、新旧様々な素晴らしい文化がたくさんあるところです。今後も共働で活動する場面を設定し、多くの方々と学校を応援する態勢を築いていくことで、地域を愛する子供たちが増えてくれれば、と願っています。

6 学校長より

昨年度よりも活動の幅が広がり、安全に十分な配慮をした上で模擬店や打ち上げ花火、キャンプを実施することができました。ただ、昨今の尋常ではない夏の暑さは、活動する上で細心の注意を払う必要があるとも感じました。趣向を凝らした様々な活動で子供たちを魅了してくださる応援団の方々に感謝申し上げます。

今後も保護者・地域の方々にご理解・ご協力いただけるように、学校の様子をお伝えしていくとともに、子供たちの良いところをさらに伸ばしていけるような取組を考えてまいります。引き続きご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

葛西小学校長 内野 雅晶
 コーディネーター 石川 勝

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約70人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み語り	年14回(水曜日)	39人
学校図書館環境整備	週1回(毎週水曜日)	25人
登校見守り	不定期(ほぼ、週2、3回)	5人
下校見守り	不定期(ほぼ、週2、3回)	5人

L A S 図書館整備



朝の「読み語り」



登下校見守り



「お話集会」



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・今年度も学校図書館ボランティア(LAS)の活動のおかげで、学校図書館内の本は常に綺麗に保管されており、本棚は整った状態であった。今年度よりバーコードによる機械管理となったのだが、そのシステム変更にも臨機応変に対応し、バーコードの修復にまで気を遣ってくれているので、児童が学校図書館を活用する際に戸惑うことがない。
- ・読み読みの活動では、多くのボランティアの方が実施した。水曜日の朝に行っている読み読りは、担任や自分の親以外の大人たちから本を読んでもらうことで、児童は真剣に話を聴き、話の内容を理解しようとする姿が見られた。話を聴いた後の児童の質問も多く、興味や関心を高める活動となった。
- ・11月末の「お話集会」では、今年度もLASの方が綿密に計画を立て準備をし、本番当日には児童にとって面白く、そして興味深い発表をしてくださった。読み方はプロの読み手のように感じ、児童は質の高い読み聞かせを聴くことができた。発表後には児童から大きな拍手が贈られた。
- ・登下校の見守りの方には、児童の安全を見守ってもらうことで、児童は安心して登下校することができた。特に東門を出た所の車道を渡る児童の安全を見守っていただき、大きな交通事故がなかった。

< 課 題 >

- ・ボランティア活動を行う学校応援団の数が年々少なくなっている。保護者への活動の紹介や各お便りによる声掛けを積極的に行っていかなければならない。保護者だけでなく、地域の方にも活動の様子をホームページ等を活用して発信し、ボランティア活動に関わる人の数を増やしていくことが課題である。
- ・ボランティア活動の更なる発展のために本校としてどのような活動ができるのか検討をしていく。他校がどのような活動を児童のために実施しているのか情報を集め、新たな活動を模索する。

5 コーディネーターより

今年度より蔵書管理のデータ化によって学校図書館の蔵書がリニューアルしました。バーコードでの管理が主体になったのですが、LASの皆様には様々な面でご協力をいただきました。それだけでなく、日頃から学校図書館の整備や本の修繕など、児童のために力を注いでもらっていて大変助かっています。「お話集会」では、今年度もとても質の高い読み聞かせを実施してくださったことは嬉しい限りです。葛西小学校や葛西中学校の児童生徒のために活動していただいていることを心より感謝しております。

児童の交通安全を見守る地域の方々にも大変お世話になっております。特に下校時、東門から下校する児童が交通事故に遭わないよう、安全な歩行の声掛けを含めた見守りをさせていただきました。

葛西小学校応援団として、児童のことを大切に思う気持ちを地域と共に育み、そして努めてまいりたいと考えています。どうぞ、今後もお協力よろしくお願ひいたします。

6 学校長より

葛西小学校応援団の方々の活動は、児童にとって華やかなものではなく、また大きく目立つものではないのですが、児童のことを想って取り組んでくださる大切な活動だと認識しています。本校の教育活動が滞りなく行われているのも、応援団の方のお力添えによるものと感謝しております。

学校図書館での活動も登下校時の見守りも、児童が安全で心地良く学校生活を送るために必要な活動です。学校応援団の方々には様々な場面でお力添えをいただき、児童の成長に多大な影響を与えてくださりました。今後も、学校と保護者、地域の皆様と互いに良い関係づくりをしながら、葛西小学校の児童を育てていきます。

二之江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

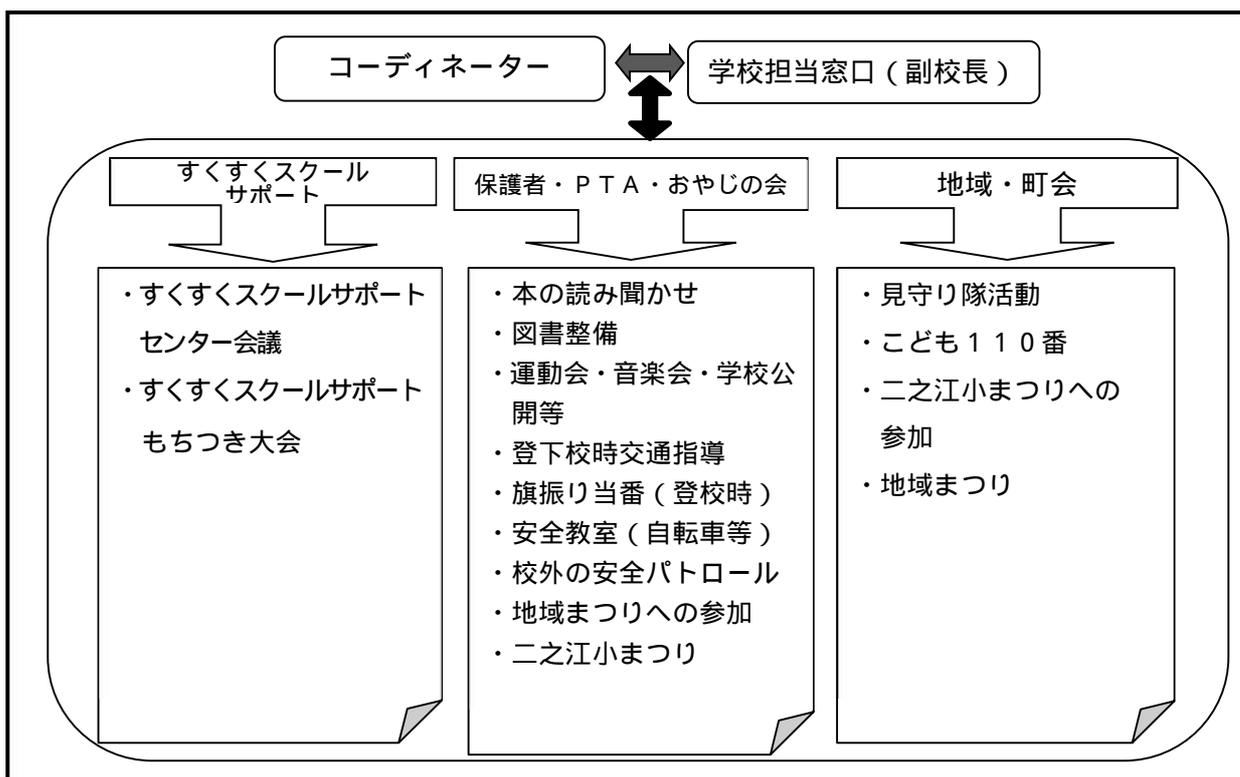
二之江小学校長 大石 吉郎
 コーディネーター 須賀 英昭

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	353人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	毎月1回	28人
図書整備	毎月1回	28人
登下校の安全	週5回	327人
環境整備	毎月2回	1人
行事支援・催し	不定期	135人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 1 読み聞かせボランティアによる読み聞かせを月1回程度、定期的を実施した。児童が本に親しみ、朝の読書活動が充実した。読み聞かせボランティアには新たに複数人の保護者が加入し、総勢名での読み聞かせが可能となった。児童は着席しての読み聞かせだが、書画カメラで挿絵を大きくテレビに映し出し、教室後方の児童にも見やすくするなど適宜工夫をしながら取り組むことができた。学校応援団の委託金を使用して、より読み聞かせを実施しやすくし、児童の読書への興味関心を高める環境整備を行う。
- 2 本校は学区が広く登校時の見守りの場所も多い。PTA校外委員会の調整を経て実施する保護者による「朝の見守り当番」、PTA成人委員会の長期休業中パトロール、4月当初の地域の方による登下校の見守りにより児童の安全が保たれ、防犯の強化が推進された。
- 3 運動会は3年振りの自校開催となった。慣れない新校舎での開催であったが、受付、準備や片づけ等の支援をいただいた。展覧会では、自転車来校禁止の徹底を図っていただいた。

< 課 題 >

- 1 地域やPTAの人材を探す。
- 2 新たな応援団の活動を構築する。

5 コーディネーターより

二之江小学校は古川親水公園に隣接し、また、統合した二之江第三小学校も新川が近くに流れ、両校ともとても地域に密接した学校です。特に歴代のPTAのOB会やおやじの会が中心となり、すくすくスクールの行事や伝統ある地域行事等に取り組んできました。皆、とても協力的です。

今年度は、コロナ禍以前に開催していた行事が地域に戻り、本校PTA主催「二之江小まつり」も10月に実施することができました。児童一人一人が楽しめて、参加してよかったと思える催し物をたくさん企画していきたいと思います。そして、児童と大人が古川・新川の自然の中でよりたくさんの思い出を作り、地域を愛する心を育ててもらえたらと思います。二之江小学校のコーディネーターとして皆様のご支援・ご協力を切に願う次第です。

6 学校長より

平成22年度から実施された「学校応援団」の取り組みは、学校を応援してくださる様々な方々のご協力をしっかりと意識できるよい機会となっています。地域やPTAのみならず、「おやじの会」の協力も、学校応援団としてとても大きな力となっています。多くの方々が、児童のために学校応援団として活躍してくださることは、とても喜ばしいことです。皆様方の心強いご理解とご支援は、本校職員一同が児童や地域のために一層頑張る大きな原動力になっています。

今後も子供たちのために学校と保護者、地域の皆様が相互の信頼で結ばれ、協力し合える二之江小学校を目指してまいります。

二之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第二小学校長 杉山 勇
 コーディネーター 石澤 多恵子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約 50 人
	学生ボランティア	0 人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーンボランティア	月1回程度 不定期	3人
蓮田愛好会	4月蓮植え・11月蓮掘り	4人
え・ほんの会	読み聞かせ月1~2回 図書整備不定期	28人
飼育ボランティア	連休 長期休業中	9人
金魚の養殖紹介	4年生 年1回	1人
学習ボランティア	不定期	6人
登校ボランティア	週5回	6人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

グリーンボランティアの活動では、学校行事に合わせて花壇に花を植える作業をした。

本校の環境美化につながり、「四季折々の花を愛でる」情操教育に大きく役立った。

え・ほんの会の活動では、全学年を対象に朝読み聞かせを行った。国語力の基礎育成に役立つだけでなく、児童の大きな楽しみにもなっており。集中して話に聞き入っている姿が、どのクラスでも見られた。また、図書館の本の修理や整備も実施した。普段人気があって読まれ傷んでいる本が、補修で再生されているのを身近に見ることで、物を大切に使うことを学習できている。

登校ボランティアの活動は、毎朝の登校において安心・安全の維持に大きな役割を果たした。本年度も大きな事故もなく、無事に登校できたその事実が何物にも代えがたい成果である。

学習ボランティアの活動は、全学年の算数の基礎学力をつけることを目的としている。江戸川総合人生大学の方々にご協力をいただき、ボランティア登録数が増えてきた。算数の苦手な児童に週3日以上学習支援ができた。

< 課 題 >

- ① これからの一番の課題は、ボランティアしていただく人員の確保が難しいことである。地域の方々にもっとボランティアの必要性和活動内容を広くお伝えする必要がある。そのための手段として、学校ホームページの開設や掲示板の設置、地域のお店の協力等を検討していく必要がある。
- ② ボランティアの長期的な継続や、活動日の増加が課題である。毎月定期的な打ち合わせを設定したり、働きやすい環境を整備したりしていく。

5 コーディネーターより

本校はボランティアの協力による活動が、主なものだけでも7つあり、どれも児童の学校生活に欠かせないものになっています。この多様な活動は、学校生活にとどまらず、地域の人たちとのつながりという成果にもなっています。このことを踏まえ、今後コーディネーターの目標として、学校・PTA・地域等とのつながりを広げていき、そのきずなを深め、児童が安心して学校生活を過ごせる活動を1つでも多く作っていければと思っています。

どうぞ、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

6 学校長より

今年度は人材の紹介もあって、学習ボランティアの活動を大変充実させることができました。「誰一人取り残さない教育活動」を目指し学習指導を行っています。学習ボランティアのおかげで、これからさらにその成果を上げられるものと確信しております。

学校応援団の多様なボランティア活動のおかげで、児童は地域の方々と接し、見守られながら成長できています。同時に、地域への思いも育まれていることに感謝いたします。

これからも、学校と共に児童の健全育成に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。

第二葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第二葛西小学校長 平川 惣一
 コーディネーター 五十嵐 英男

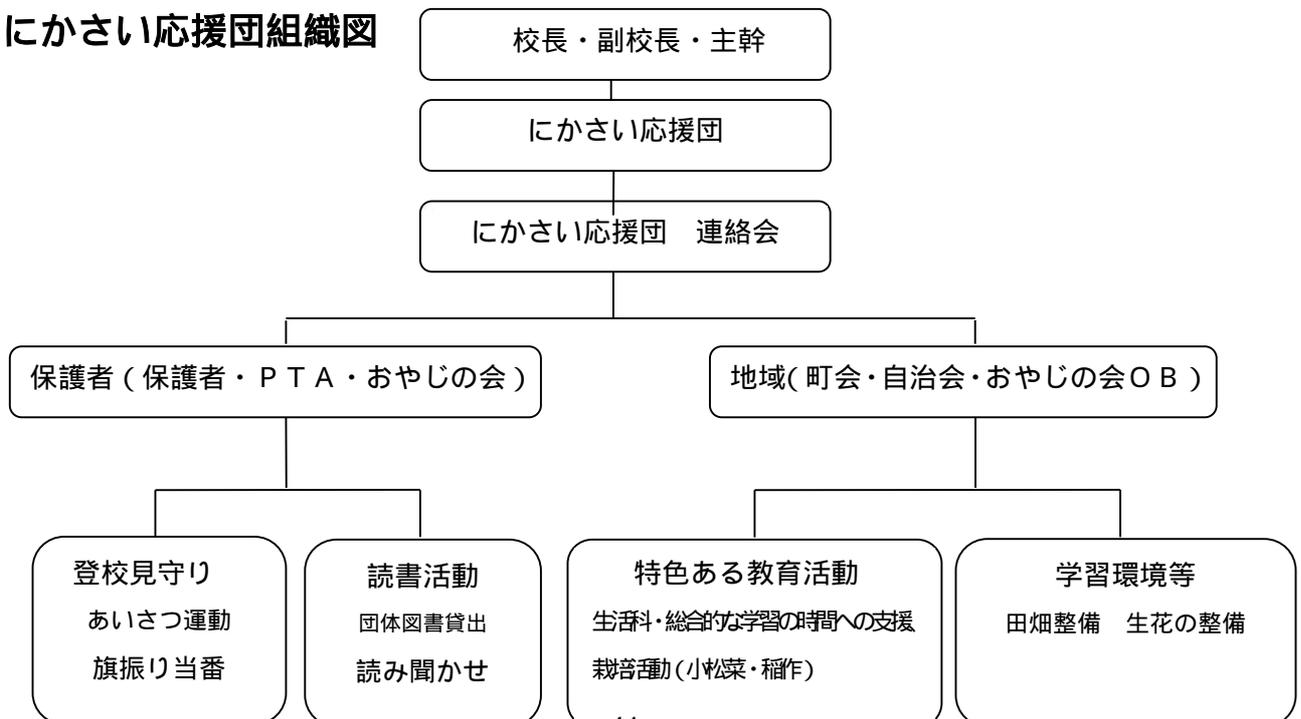
2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	653人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書室整備	毎週金曜日	212人
読み聞かせ	不定期	161回
団体図書貸出	月1回(年10回)	105人
登校見守り	週5日	759人
集団回収	常設	230人
おやじの会イベント	7月 11月 3月	129人

にかさい応援団組織図



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

第二葛西小学校は、たくさんの善意で支えられており、学校応援団のみなさんは「子どもたちのために」を合言葉にさまざまな活動に取り組んでくださっています。今年度も、登校時の見守り（旗振り当番）、東葛西図書館の団体貸し出し、各教室での本の読み聞かせや集団回収などのPTA活動の支援等、日常的な取組を継続していただきました。さらに、おやじの会のみなさんには、土曜授業日の登校見守りや二葛西まつり、地域のお祭りへの協力、災害時用テントの設営やクリーン作戦を中心とした親子イベントなど、企画力にあふれる計画と、連携の取れた役割分担で子どもたちを楽しませてくれました。

登校時の見守りには多くの保護者やおやじの会のみなさんが児童の安全を見守ってくださいました。学校応援団のみなさんの活動のおかげで、学校生活がより充実し、安全な毎日を送ることができました。

< 課 題 >

昨年度より、コロナ禍の制限から通常通りの活動に戻しました。昨年度の課題であった、コロナ前までどのように活動していたか分からない部分や引き継がれていないことについては、現状に合わせて試行錯誤した昨年度を経て、内容を改善しつつ今年度へ引き継がれました。二葛西まつりでは、飲食店を増やしたり、地域のスポーツチームと連携したりと新たな試みも企画されました。当日があいにくの雨となったため中止となった企画もあり、天候やPTAの組織体制の変化に伴う柔軟な運営が今後の課題となりそうです。

5 コーディネーターより

「にかさい応援団」の活動は、地域の方々とPTA、おやじの会が協力して活動しています。図書館団体貸し出しのおかげで、学校の図書活動を充実させることができます。毎月、図書館に選書に行くことは大変ですが、子どもたちが本を選んでいる姿を見ると、にかさい応援団の活動が役に立っていることを実感できます。

今後も活動を続け、学校・PTA・おやじの会の実情に即して、その内容を柔軟に改善していくことを大切に、これからも「にかさい応援団」の活動を支援していきます。

6 学校長より

本校では、平成22年に学校応援団を「にかさい応援団」と名付け、14年がたちました。保護者・地域の皆様と一緒に子どもたちを育てることを目的にしております。

今年度も旗振り当番・図書室整備・読み聞かせなど、様々な取組の中で子どもたちを育てていただきました。昨年度から通常の活動が再開されており、二葛西まつりもより充実した内容で企画・運営され、たくさんの児童が楽しんだり、地域の方が参加したりして、楽しく活気のあるおまつりになりました。

さらに、おやじの会のみなさんが、子どもたちの楽しめる企画を立て、用意周到に準備し完成度の高いイベントを実施してくださいました。

こうした活動に支えられて、第二葛西小学校の児童は楽しく学校生活を送ることができています。未来に向けて子どもたちの可能性を大きく広げるためにも、「にかさい応援団」の活動を今後もより一層充実させてまいります。

第三葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第三葛西小学校長 吉野 麻哉子
 コーディネーター 由良 江美子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	422人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校の見守り	週5日	422人
図書ボランティア	週1回	10人
親子安全見守り隊	年2回(6月・11月)	422人
夏休みパトロール	夏季休業中(2日)	16人
校外学習安全見守り	不定期	10人



(図書ボランティア 読み聞かせや図書室前の季節掲示の様子)

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

保護者による毎朝の見守り当番の協力により、登校時の事故が無く安全に登校できた。親子安全見守り隊では、通学路の危険な場所を親子で確認する活動を行った。事後のアンケート調査で得た学区域内の危険箇所情報を安全マップの配布で共有した。

図書ボランティアでは、児童への読み聞かせを各学年学期1回程度実施していただいた。教員とは違った視点での選書により、子供たちの読書の幅を広げり、読書意欲が高まった。定期的に季節や行事に合わせた掲示や、本の補修にも取り組んでいただき、学校図書館の環境整備を進めることができた。

< 課 題 >

登校時の見守りでは、スクールゾーンへの自動車の侵入や交通ルールを守らない自転車の走行により児童の安全確保に苦慮している。葛西警察署スクールサポーターとも連携し、対応にあたっていく。

規模や活動を見直してはいるが、ボランティアに参加できる人員確保がさらに難しくなっている。学校応援団という組織の周知を工夫し、より多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。

5 コーディネーターより

学校（子供たち）に対して、様々な支援の方法があると思うが、今までの活動や取り組みを見直しながら活動や体制づくりを進めてきました。今後も、学校・保護者・地域が一体となって実践していけるよう、そして、より多くの保護者や地域の方々に積極的に参加・協力していただけるような活動を、今後も続けていきたいと考えています。。

6 学校長より

昨年度から実施方法や取組方法の検討を重ね、効率的かつ効果的な活動ができました。多くの学校応援団の皆様の応援で、子供たちのたくさんの笑顔が見られています。安全・安心を守るための活動を変わずに続けてくださっている皆様には感謝申し上げます。

来年度も、コーディネーターを中心として、多くのボランティアの皆さんと協力し、子供たちのためになる、よりよい教育活動を進めていく所存です。

第四葛西小学校 学校応援団 実践報告書



(マスコット ダイヨンくん)

1 校長及びコーディネーター氏名

第四葛西小学校長 永浜 幹朗
 コーディネーター 堤 尚之

2 ボランティア登録数 (今年7年1月末現在)

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	545人
	学生ボランティア	2人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
葛西さざなみ会	年4回	10人
登校見守り	週5回	545人
図書読み聞かせ会	第1・2・3学年 月1~2回	16人
行事支援	月1回	30人

(活動の様子)



田植え



稲刈り



餅つき



海苔すき

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 今年度は保護者やP T A・地域の方々から、たくさんのご支援ご協力をいただき、体験的な活動を実施することができました。本校の子ども達は、皆様に見守られている安心感を日々感じながら過ごしています。
- 登校見守りでは、毎朝子ども達への挨拶や交通安全へのお声がけをいただきました。皆様のおかげにより、登校時の事故ゼロを継続できています。
葛西さざなみ会様には、今年度も、田植え・稲刈り・餅つき（第5学年）、海苔すき体験（第3学年）を実施していただきました。葛西地域の伝統や文化等について学ぶことができる、貴重な体験の機会となりました。児童からは「お米を収穫するまでの農家の皆さんの大変さが分かりました。」「海苔ができるまでを知りました。調べてみたいです。またやってみたいです。」と新しい気付きや感謝の気持ちがたくさん聞かれました。
- 第1～3学年の図書読み聞かせ会を毎月継続しました。新しい本と出会い、その世界を楽しみ、一層本への興味を広げています。読み手の声色や間合いによる臨場感は読み聞かせならではのものであり、良い時間をいただきました。
四小ふれあいまつりでは、多くのご担当者の熱意により万全の準備を整え、当日を迎えました。あいにく雨天開催となりましたが、子ども達と地域の方々が直接触れ合う大切な場となりました。子ども達の歓声も一際響いていました。

< 課 題 >

これからも学校応援団と学校が協力しながら、子ども達の体験的な活動の充実を継続していきたいと考えています。
活動協力団体の皆様の高齢化により、活動の継続が懸念されます。

5 コーディネーターより

- 今年度も、地域の方・学校・P T Aの多くの方々と協力し合いながら活動を進めてまいりました。子ども達や参加者の皆様と触れ合う機会をもつ事ができなによりです。来年度も充実した活動、安全な活動が展開できるように工夫してまいります。
葛西さざなみ会様には、本年度も大変お世話になりました。来年度も子ども達への体験活動の充実をどうぞよろしく願いいたします。

6 学校長より

- 関係の皆様のお力添えにより、すばらしい体験活動の機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。学校応援団の活動を通して、地域の伝統を大切に受け継いでまいります。本校の伝統を礎に、「笑・楽・好（しょう・がっ・こう）」のキャッチフレーズのもと、楽しく学校に通い、子どもたちの笑顔があふれる学校になるよう尽力いたします。

第五葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第五葛西小学校長 田中 雅生
 コーディネーター 田中 成治

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	94人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	週5日	43人
読み語り	月1回	30人
図書環境整備	月1回	25人



季節に合わせた掲示物



図書室の環境整備



月に一度の読み語り

4 今年度の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「見守り隊」の方々へ学校だよりを配布する際に、下校時間のカレンダーも配布しているが、次月のはじめも周知するようにし、活動を円滑に行えるようにした。 ・「見守り隊」の活動によって安全な登下校を行うことができたため、東京都から感謝状を授与いただき、授与式を兼ねた「感謝の会」を開催し、懇談をした。ご協力に感謝すると共に、現状の課題や改善点などを聞き取り、今後の継続方法についても話し合うことができた。 ・読書ボランティアの方が、様々な季節に合わせた掲示物を作ってください、児童への読書の意欲が高まった。 ・読み語りの活動は児童も毎月、楽しみにしており、読書活動への興味関心が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守り隊」の方々が高齢化と共に、参加いただく人数が減ってきている。今年度行った、「感謝の会」などを定期的に行い、労をねぎらうと共に、今後の取り組み方について、相談しながら継続していく必要がある。 ・校内の「読み語り」ボランティア用の図書が大量にあったが、今まで別保管となっており、読み語り以外では活用されていなかった。図書のバーコード管理化と、本校の蔵書点検を機会として、一元管理としていく。今後読み語りの時間と教育活動の中の「読書科」の時間を連動させるような年間計画を立て、実施していく。 ・今年度の活動の積み重ねを生かし、さらに充実した活動を行っていくため、各ボランティアと学校の担当者との打ち合わせを適宜取り入れていく。

5 コーディネーターより

地域の方々とも協力し、学校応援団の代表として、日々努めてきました。「見守り隊」「学校図書館ボランティア」「読み語り」等、来年度もぜひ継続いただきたいと思っております。映画上映会やフェスタなどのお祭りも今年度は開催され、子供たちの健やかな成長を見ることができました。今後も学校応援団の更なる充実を心掛けて取り組んでいきます。

6 学校長より

子供たちの安全・安心と豊かな学びのため、学校応援団の皆様の日頃の多大なるご協力とご支援に深く感謝申し上げます。

学校は、各町会自治会、地域の方々、PTA会長はじめ保護者の方々との連携をより一層深め、地域、保護者、学校が一体となった教育活動を推進してきました。

「見守り隊」の皆様には、今年度も雨の日も風の日も通学路の安全を欠かさず見守っていただきました。1日、2、3回になることもある下校時刻に合わせて、毎日登下校を見守っていただきました。今年度は、東京都教育員会より学校安全支援部門の感謝状をいただきました。12月16日には、授与式を兼ねた「感謝の会」を開催し、「見守り隊」の方々との懇談をしました。

また、読み語り、図書環境整備のボランティアの方々の活動により、子供たちが読書に親しみ、読書活動への興味・関心が高まりました。

今後も、地域や保護者の皆様と学校との絆を一層深くし、教育活動のさらなる発展を目指してまいります。これからもよろしく願い申し上げます。

第六葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第六葛西小学校長 中山 和義
 コーディネーター 関口 光治

2 ボランティア数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	152人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
ろっこぶっく	週1回(毎週木曜日)	15人
読み聞かせ	各クラス月1回(不定期)	77人
登下校安全指導	週5日	(521人対象) 月2回募集
ネパール姉妹校協力委員会	不定期	20人
行事支援・六雄会	各行事	40人



ネパール姉妹校との交流



図書整備



自転車運転免許教室(3年生)



朝の読み聞かせ



ろっこまつり



サマーキャンプ

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 1 学校応援団の皆様による活動は、PTA の委員会が無くなり、本部を中心に登下校の安全見守りの「旗持ち」や「親子リサイクル」など、ボランティア制で行われた。
- 2 子供たちが毎年楽しみにしている「ろくっこクラブ」の活動は、「新一年生歓迎会」や5年ぶりに「餅つき」を行い、たくさんの親子が楽しい時間を過ごすことができた。
- 3 読み聞かせ活動は、月1回対面式で行われた。また、「クリスマス」や「節分」などの季節の行事に合わせて学年合同の読み聞かせスペシャルも実施していただいた。
- 4 「ろくっこぶっく」は、図書室の環境整備を展開していただき、子供たちの読書への関心が一層高まった。他に近隣図書館の方も整備やアニマシオンを実施してくださっている。
- 5 「ネパール姉妹校協力委員会」のご尽力で、50周年記念式典前後でネパールから男女1名ずつと校長先生をお招きし、歓迎集会を開き、クラスで一緒に学ぶなど、直接交流をすることができた。

< 課 題 >

- ・ 保護者の関わりが多い応援団は、子供たちが卒業することで、人的な確保をどのように進めるかが常に課題である。
- ・ コロナ前の内容に戻すには、保護者の負担が大きいものもあり、新たな活動の工夫が求められている。
- ・ 気温上昇により、例年と同じ時期に活動できない行事もある。時期の検討が必要である。

5 コーディネーターより

家庭や学校だけでは体験できないことが応援団の皆さんのご努力・ご尽力により体験できることは嬉しい限りです。同時に、子ども時の快体験は成長しても忘れることのない思い出になり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

今年度は、できる活動がコロナ前に戻りつつあります。コロナ後の新しい活動の形を模索しながら、これからも学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」をいっそう広げていきます。代表として、さらに活動を推進したいと考えています。

6 学校長より

保護者・地域の皆様による「応援団活動」は、子供たちが「保護者や地域」の温かい気持ちを感じるよい機会を生み出しています。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域安全にもつながります。

今年度は、PTA によるボランティア制の導入1年目として成果と課題が見えてきました。次年度も、今年度の成果と課題を生かして、持続可能な活動へと形を工夫しながら、様々な活動を実施してくださる応援団の皆様へ感謝します。

これからも蓄積してきたノウハウを活かしながら、子供たちの笑顔のために、さまざまな活動を工夫していただければ幸いです。

第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長 山崎 美佐子
 コーディネーター 小田原 備一

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	48人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	年間12回(読書月間)	20
図書環境整備、パネルシアター	週1回(火曜日) 年間17回	11
図書見守り	不定期	6
学習活動支援	年3回(凧作り・海苔づくり・ヤゴ救出)	10
七小田んぼ愛育会	不定期(常時活動・苗植え・稲刈り・脱穀)	10
登下校見守り	週5回	15

1年 パネルシアター
(図書ボランティア)

3年 ヤゴ救出作戦
学習(学校応援団)

5年 稲の脱穀授業
(七小田んぼ愛育会)



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・学校応援団「七小田んぼ愛育会」と保護者の力を借りて、今年度も5年生の稲作（総合的な学習の活動）に取り組んだ。水田は、校庭内の4畳分と、四季の道（緑道）にある20畳分がある。四季の道の水田は、区より借り受けて本校専用として使わせていただいている。田起しから始まり、田植え、稲刈り、脱穀、縄ない...と年間を通して取り組む中で、子どもたちに農業の大変さを学ぶとともに、SDGsについて考えさせることができた。児童にとって大変有意義な学習活動になった。また、今年度は、「学校教育活動支援部門」で東京都教育委員会から担当者が表彰を受けることができ、学校応援団の活動を認めてもらうことができた。
- ・1月に学校応援団のメンバーの方を講師に招き、2年生の和風作り（生活科）に取り組んだ。日本の伝統文化である和風の仕組みや面白さを知ることができた。
- ・保護者で構成される「図書ボランティア」の活動では、「読み聞かせ」「環境整備」「図書室の見守り」を実施できた。特に「読み聞かせ」では、パネルシアターを行っている。図書ボランティアが、忙しい中、都合を付けて図書室に集まり、時間をかけて準備と練習をしている。そのため、大変レベルの高いパネルシアターを行うことができています。児童に読書の大切さと楽しさを十分に伝えることができた。
- ・登校時の「旗振り当番」の活動をPTAボランティアにお願いしている。PTA活動がボランティア形式となっているため、人員不足に苦労しているが、今年度も無事に実施できた。

< 課 題 >

- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、協力いただける方が少ないこと。
- ・PTA活動がボランティア形式のため、協力いただける保護者の数の確保ができないこと。
- ・少人数でも教育効果の高い活動ができる組織と内容の工夫が必要なこと。

5 コーディネーターより

今年度は、おやじの会やPTA役員と協力して、予定していた全ての活動を行うことができた。また、教職員の参加率も高く、相撲大会・オータムキャンプ・ともだち祭り・冬のイベントと、数多くの企画に常時教職員が参加し、子どもたちと触れ合いながら楽しい時間を作ることができていた。また、おやじの会が加わったことで、父親と子どもたちの関わり合いも多かった。例えば、子どもと父親と一緒にカレーの材料を切ったり、父親が遊びコーナーのホストとなり、子どもたちにゲームをさせて楽しませたりする様子が見られた。課題は、人材不足である。取り組む内容を精選し、より効率的・効果的な活動を工夫することが必要になっている。協力していただける方々の負担を減らしながらも、未来を担う子どもたちの思い出に残るような学校になるよう努めていきたい。

6 学校長より

学びがい・働きがい・通わせがいのある魅力ある学校にするためには、子どもたち・教職員・保護者・地域が協働で動かなければ実現はできない。そのつなぎ役の一つが学校応援団である。学校応援団の方々には、ご自分の仕事の時間を割いてご支援・ご協力をしていただいている。経費援助をしたり、保護者や教職員が手伝ったりしながら、今後も子どもたちのために、『協力・共働・共育』をめざして連携を深めていきたい。

南葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西小学校長 長内 好美 コーディネーター 佐藤俊介

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	515人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	年間2回	21人
安全見守りボランティア	毎日	485人
さざなみ会南葛西町会	田植え・稲刈り(年間2回)・のりすき等	20人
行事支援	テント張・受付等 不定期	40人
富士公園花植え	第5学年 1回	5人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年も、PTA・南葛西町会・富士公園の皆様方からご協力をいただきました。子どもたちが、地域の一員であることを自覚し、学校と地域社会の連携を深め、子供たちの成長を支援する上で、大きな役割を果たしてくれています。

さざなみ会には、田植え・稲刈り・のりすきなど、3年社会・5年社会のまとめとして、子供たちが普段体験できない貴重な体験をさせていただきました。授業では学べない経験や知識を教えていただき、子供たちの視野を広げることができました。

保護者からの応援団では、読書活動のさらなる充実に向けて、読書活動の支援（お話し届け隊）を頂き、読書環境がさらに充実してきました。

登校支援である旗振りにおいては、全児童の保護者へご協力いただき、安全に登校できるよう旗振り活動に取り組んでいただき、事故等がなく登校することができました。

< 課 題 >

ボランティアの確保と継続が課題となっています。継続的な活動のためには、新たなボランティアの確保とボランティアの意義をしっかりと伝えていくことが必要不可欠となります。

更に、地域との連携を深め、児童と学校・地域がスクラムを組めるよう対応していきます。

5 コーディネーターより

今年度も多くのボランティアの皆様の温かいご支援に、心から感謝しております。皆様の献身的な活動によって、子供たちの笑顔を引き出すことができました。

学校・保護者・地域が連携し、ボランティア活動を行うことは、子供たちの成長をサポートし、より良い地域社会を築く上で、非常に有効な手段です。それぞれの主体が協力し、互いの強みを活かし、さらに連携を深めていきたいと考えています。

これからも、『チーム学校』をキーワードに町会や自治会をはじめとして、保護者・地域とのかかわりを密にして取り組んでいきます。

6 学校長より

今年度も、保護者・PTA・町会、地域の皆様の協力をいただき、学習活動・教育環境・健全育成において多くのご支援をいただくことができました。特に、お忙しい中、南葛西町会・さざなみ会の皆様方から多大なるご協力をいただき、「田植え」「稲刈り」「のりすき」などの充実した体験型の教育活動をすすめることができました。

これからも、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、「地域を大切にする」子どもの育成に努めてまいります。

南葛西第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第二小学校長 高橋 徹
コーディネーター 藤野 尚志

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	48人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ・図書館整備	週1回(毎週金曜日)	15人
田植え・稲刈り体験	不定期	12人
登下校見守り	週5回	1人
行事支援	不定期	20人

【第5学年】 お米作りを体験しよう



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

農業体験や読み聞かせなど、地域や保護者と触れ合う学習活動の充実を図った。

主な活動として、学区内の田んぼを活用し、ボランティアの方の協力を得て、田植えから収穫まで行うことができ、共同的な体験活動ができた。また、図書ボランティアの方には、図書室の環境整備や毎月低学年の教室に入って読み聞かせを行っていただき、本に親しむ心情を育てていただいた。

< 課 題 >

各学年の活動に取り組む中で、ボランティアの方の参加の仕方に課題が残る。

例えば、図書ボランティアの方と教員との打ち合わせの時間の確保や内容などである。図書ボランティアでは、年度初めに人を募集し、協力いただける方と打ち合わせを行い、日程を決めることを担当者が中心となって行っている。毎年実施しているので慣れているところはあるが、担当教員の異動や児童が卒業した保護者などがあると参加者や引き継ぎなどに不安が残る。

5 コーディネーターより

地域の皆様には、日頃より本校の児童のためにご尽力をいただき、ありがとうございます。PTA 運営の活動が減る中、ボランティアの方の協力はとても貴重となり、子供にとって価値のある活動だと思っています。今後も子供たちの笑顔のために活動を続けていいただけるようご尽力をお願いいたします。PTA・地域の皆様、今後どうぞよろしく願いいたします。

6 学校長より

今年度も PTA・地域の皆様には、本校児童のためにご協力をいただき、ありがとうございました。地域との関わりを通して、子供たちにとって得難い活動だったと思います。今後もさまざまな活動を通して、本校児童の成長にご協力をいただくと幸いです。読み聞かせや図書館整備、田植えや稲刈り体験、登下校の見守り等々、学校を応援してくださる方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

南葛西第三小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第三小学校長 佐久間 貴広
コーディネーター 森 友希

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	411人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備	図書館の本の整理、書架の整備、児童への読み聞かせ（月1回程度）	13人
登下校見守り	通学路での登下校安全見守り、横断歩道での旗振り（毎日）	361人
安全教室（自転車）補助	自転車の安全な乗り方の支援	11人
各種行事補助	運動会、三小まなびピア（学習発表会）における会場設営・受付・誘導	26人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

・「運動会」では、テント設営・会場受付・案内誘導・学校周辺の見回り等で御協力をいただき、より円滑な学校行事の運営につながった。また、「三小まなびピア」では、学年ごとの来校者の受付、来校者用名札の管理、来賓の案内等を教職員と連携して行う等、まさに学校側と両輪となって実施することができた。

・図書ボランティアの活動では、毎月実施の読み聞かせをはじめ、「PTAお楽しみ会」での古本交換会の運営、「三小まなびピア」での無償提供本のブース設置と運営、また、今年度は開校35周年に伴い、寄贈本の選定や35周年の特設ブースの設置立案等、本に親しめる様々なアイデアと工夫を凝らした学校図書館の環境整備に努め、魅力あふれる学校図書館の運営につながった。他にも、教員が薦める本の紹介コーナーの設置や、教職員による読み聞かせ等、図書ボランティアの活動から波及し発展的な取組へとつながった。

・毎朝、児童の登校時に、道路の横断の見守りとして学区域内の主な横断箇所に、輪番で旗振りとして児童の横断の見守りを行った。保護者の他に、地域の熟年者の方々にも協力を仰ぎ、登校時に加え、下校時の見守りもしていただいた。このような交通安全活動により、交通事故の未然防止につながっている。

< 課 題 >

「学校応援団協力リスト」を有効に活用できなかった。来年度は、年度当初にリストを作成し、早い段階で各学年の年間指導計画に組み込み、学校応援団協力者を効果的に活用することができようにしていく。そして、学校外部とのつながりを深め、幅広い人材を確保していく。

5 コーディネーターより

子供たちを取り巻く環境が大きく変容している昨今、子供たちの安全を第一に考えながら、個性輝く学校の実現に向け、日頃より教育活動を推進していただいている学校職員の皆様に感謝申し上げます。また、今年度の活動を振り返るにあたり、学校ボランティアをはじめ、PTAと連携した新たな取組も含めて、無事に活動できましたことを嬉しく思います。

今後も、地域や保護者の方々にさらに働きかけて、様々な専門分野の方に協力していただき、幅広く教育活動のお手伝いができるようにしてまいりたいと思います。

6 学校長より

児童の安全や学びの環境の充実、そして、限られた学校職員の中でより円滑な学校運営を進めていくうえで、学校応援団の存在は大変貴重なマンパワーとサポートであり、感謝申し上げます。継続した取組をとおして、応援団の皆様と安定した関係が築けていることは学校にとって大きな財産であり、継続した御協力をお願いいたします。

また、学校現場もコロナ以前の状況に戻ってきているため、来年度以降は、さらに地域の力の発掘を進め、学習活動等の充実に向けて応援をいただけるよう努めてまいります。

西葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

西葛西小学校長 森川 康一
 コーディネーター 中村 岳

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	150人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
野鳥の巣箱づくり・巣箱かけかえ	7月・12月	20人
図書整備ボランティア	毎週火曜日	15人
ビオトープ管理	毎週木曜日	4人
うさぎの世話	長期休み期間	1人
読み聞かせ	不定期	30人
学習支援	都度	100人



巣箱づくりの様子



巣箱かけの様子



読み聞かせの様子

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 野鳥の巣箱づくり、巣箱かけかえを実施できた。これは、「東京都愛鳥モデル校」の事業として、学校応援団が主催し、東京都鳥獣保護員、PTA、区立行船公園の協力・連携のもと、毎年行っているものである。今年度は、7月に「巣箱づくり」、12月に「巣箱掛け替え」を行った。巣箱づくりには35組の保護者と児童が参加し、鳥獣保護員からの鳥獣保護に関する説明ののち、木材の切断、やすりかけなどを行い、木工細工を楽しんだ。作った巣箱は、12月に校庭や行船公園の木に掛け替えた。地域の方々とともに、自然を愛し楽しむ心の育成を図っている。
- 四季折々の植物や昆虫、生物に触れることができ、授業やすくスクールでも活用できる場になるようビオトープの維持管理を行っている。子どもたちは登下校時や休み時間等にビオトープを観察している。自然に触れる機会の少ない子どもたちにとって、身近に観察ができる環境は単に教科学習にとどまらず多くのことを学ぶ機会になっている。

< 課 題 >

- コロナ禍でしばらく巣箱づくり実施されていなかったことや、中心で活動する人材が固定化されていること等から、巣箱づくりの進め方に関するノウハウが十分に引き継がれていない。在校生の保護者等の中から人材を発掘し、若手へ引き継いでいきたい。
- ビオトープ管理は、新しい人材が増えていないことが課題となる。中心となっているのは地域の方だが、その他は在校生の保護者であり卒業と同時に活動をやめてしまう。昨年度から2人の在校生の保護者が参加している。より活発な活動を目指し、人員増加を図っていきたい。

5 コーディネーターより

巣箱づくり、巣箱かけかえが実施できてよかった。子どもと保護者、地域の方が協力してできる活動なので、学校応援団の意義を十分に感じることができる。今後も継続的に実施していきたい。

6 学校長より

ビオトープは本校の開校 20 周年の時に作られ、学校応援団の方のご協力を得ながら大切に守られてきています。四季折々の草花や昆虫が観察でき、春から秋にかけて子どもたちもよく観察していました。また、夏休みには巣箱づくりが実施され 35 組の親子が参加しました。東京都鳥獣保護管理推進委員の方のご協力もいただきながら、学校や近隣の公園にやってくる野生のスズメやシジュウカラの生態を学び、鳥たちが活用できるように作製しました。12 月には作製した巣箱を実際に木にかける活動も行いました。外した巣箱のうち、実際に鳥が巣を作っていたものは、学校応援団の方が鳥たちの写真と共に展示してくださいました。子どもたちはもちろんのこと、教職員や学校を訪れた保護者も興味深く鑑賞する様子が見られました。応援団の方、保護者の皆様、地域の方と共に、自然を大切に子どもを育む活動を今後も活発に行っていきたいです。

新田小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

新田小学校長 鈴木 剛司
 コーディネーター 座間 久美子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	138人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り支援	4月、7月、12月	30人
学習支援	書道教室(3～6年) 12月、1月	1人
	読書活動支援	15人
	図書団体貸し出し支援	10人
	SDGs学習支援(2年ヤゴトープ)	6人
環境整備支援(畑)	不定期	3人
環境整備支援(花壇、池)	不定期	3人
環境整備支援(清掃)	6月、12月	45人
学校地域行事支援	お父さん会 不定期	25人



読書活動支援



環境整備(花)



環境整備(清掃)

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

環境整備支援では、これまでの活動を継続させつつ、新たな活動も取り入れることができた。学校農園では、今年度もすすくすくスクールと連携した活動を行い、子供たちは野菜の栽培・収穫を通して、自然の大切さ、人との触れ合いを実感することができた。大人も子供も笑顔になった。今年度は、ゴーヤのグリーンカーテンに挑戦した。ネットの設置が大変だったが、ゴーヤがねらい通りに成長して猛暑をやわらげるとともに、実ったゴーヤを見た子供たちの興味が広がった。また、校庭周囲の側溝の清掃にも取り組んだ。お父さん会メンバーや、学校行事のクリーンデー参加者が落ち葉と土砂を取り除き、校庭の水はけがよくなった。

さらに、池の改造にも取り組んだ。来年度は、蓮が咲く池で鯉が泳ぐだろう。

昨年再開した読書活動支援「えほんのとびら」は、今年度、新メンバーが加わり、月1回、各クラスで読み聞かせをすることができた。毎回、子供たちが楽しみにしてくれている。

3年生以上の書道教室は、20年以上続いている。今年は、1名が、江戸川区小学校書き初め大会で小学校長会長賞を受賞し、新田小の子供たちに受賞させたいという願いが叶った。

お父さん会は、運動会などの学校行事、校庭キャンプなどの自由参加行事、ふれあいフェスティバルなどの地域行事と、様々な場面で子供たちの支援を行うことができた。

水泳指導が終わった後のプールを活用して、ヤゴトープを作る活動を提案し、2年生が取り組むことになった。来年度、プールの排水前にヤゴを救って子供たちと育て、ふ化させたい。

< 課 題 >

以前からの課題であるが、学校応援団メンバーを拡充し、活動をさらに充実させていきたい。

基本的に、新田小の保護者は新田小の学校応援団の一員という気持ちをもってもらえるよう、広報活動を行う。読書活動支援など、PTAとも協力して随時参加者を募っていきたい。

5 コーディネーターより

新田小学校の学校応援団は、すすくすくサポートセンター・保護者・PTA・地域の皆様・お父さん会・新田町会・公社新田住宅自治会の皆様で成り立っています。これらの団体がいろいろな活動をより計画的に組織的に行っていくものです。

今年度も、新たに参加してくださる方がおり、嬉しく思っています。また、お子さんが卒業しても学校応援団としてかかわってくださる方も多いです。これからも新田小の子供たちのために、たくさんの皆様で見守り、たくさんの手で助け合い、より良い学校づくりをお手伝いしていきましょう。

6 学校長より

今年度は初めての取組として「ヤゴトープ」の作成や池の改造を行いました。子供たちは、どんなヤゴが育つのか、また、池にどのような花が咲くのか、今からとても楽しみにしています。また、今まで同様、子供たちが喜ぶ活動を学校応援団の皆様が継続して行ってくださいました。皆様の活動により、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。心から感謝申し上げます。今後も子供たちのために、保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、新田住宅自治会の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

宇喜田小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

宇喜田小学校長 青山 美和子
コーディネーター 増田 正敏

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	58人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登下校の安全見守り	週5回	8人
学校図書館環境整備	週1回(毎週金曜日)	14人
図書選定	月1回	19人
読み聞かせ	年間9回	17人

登下校の安全見守り



読み聞かせ



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

毎月、学校便りを届ける際に下校時刻表も配布し、挨拶や声掛け等、児童との交流を進めながら、優しく見守っていただけました。

今年度は、学校全体でもあいさつ運動を実施した。登下校の安全見守りにご協力いただいている応援団の方とあいさつを通してつながりを強くし、地域の方々に見守られていることを感じながら、少しずつ地域への愛着を深めていってほしい。

学校図書館整備の方には、学校図書館環境整備の活動を行っていただいた。季節に沿った掲示物の作成、破れた本の修理、季節に合わせたおすすめの本の紹介、各学年で読んでほしい本の紹介等、貸し借りしやすい環境や、手に取って読みたくなる工夫、季節を感じられる掲示の中で本に親しめる環境を作っていただいた。

図書選定や読み聞かせにより、授業に関する本や季節を感じられる本、読書の幅を広げられる本等が教室にあることで、読書への関心を高めることにつながっている。

< 課 題 >

コロナ前まで行われていた花壇・三段池環境整備が、中断している状況である。今後は、校庭の周りの環境整備や花壇の手入れ等、美しい環境を保っていけるよう、新たな応援団を募集していきたい。例年行っている活動を維持できるように、活動内容や連絡先等を記録し、引き継げるようにしていく。

5 コーディネーターより

読書への関心を高める学校図書館整備の充実や、定期的な読み聞かせ等、子供たちが本に親しめる環境を作っていただけることに感謝いたします。また、登下校の見守りを続けてくださり、あいさつや声を掛けてくれることで地域の輪が広がっています。

今後も、子供たちが安全・安心して学校生活を送ることができる魅力ある学校になるように、少しでも協力していきたいと考えております。今後とも、よろしく願いいたします。

6 学校長より

日頃より、宇喜田小学校の子供たちのためにご支援を賜りありがとうございます。児童一人一人にタブレット端末が配布され、様々なことが簡単に調べられるようになってきました。しかしながら、本を読むという活動は、自ら考えていく力や豊かな心の育成につながるものです。

学校図書環境を整えていただいているおかげで、子供たちにとって本の魅力が自然と感じられるようになってきています。本当にありがとうございます。

登下校の安全見守りの方には、登下校時の見守りとともに、児童への温かい声掛けをしていただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、子供たちのために、応援団の皆様と協力しながら、児童にとって安心できる・魅力ある学校にしていけるようにと思っています。今後とも、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

清新第一小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一小学校長 石橋 悟
コーディネーター 鷓澤 貴範

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	86人
--------------	----------	-----

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回程度	1人
登校時見守り	不定期	2人
日本舞踊	月2回程度	23人
フラダンス教室	月1回程度	5人
おはなし隊	12月と3月「お話し会スペシャル」 7月と9月(年4回)	4人
パステル画	不定期	32人
盆踊り体験	年1回	11人
わくわく広場	年1回	5人
サポート会議	年3回	5人



フラダンス教室の様子



日本舞踊教室の様子

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

活発なボランティア活動が卒業後のOB・OGにつながるスムーズなシステムとなっています。コーディネーターを中心に学校応援団の輪が広がり、今年度も多くの方々が登録し、子どもたちのために様々な企画を実施しました。

今年度は、わくわく広場における活動・フラダンス教室・日本舞踊教室・おはなし会・パステル画など、様々な活動を行うことができました。発表の場が増え、活動が盛んになっていきました。

児童の登校時の見守り活動や花壇の整備は、これまで通り実施することができました。児童の安全・安心を最優先に考えながら、できる範囲の中で計画し、活動を進めることができます。

< 課 題 >

児童数が約 830 人で、区内でも多い学校です。学区域変更により少しずつ学級数・児童数は減っていますが、それでも状況は今後数年間変わりません。通学路にある大きな交差点は、多くの児童が通過します。そのため登校時の見守りも続けていきたいところではありますが、人手不足は否めません。今後も新しく応援団に参加していただき、継続した活動につなげていきたいと思えます。

5 コーディネーターより

今年度も前年度に引き続き、読み聞かせ・おはなし隊・フラダンス教室・日本舞踊・パステル画・盆踊り体験・わくわく広場・サポート会議が開催されました。子供たちも楽しんで参加しています。朝の登校時見守りも継続的に行い、子供たちの安全を見守っています。3月には、「お話し会スペシャル」を開催する予定です。今後とも、学校・PTA・すくすくスクールと連携しながら、子供たちのために活動を行っていきたくと思っています。

6 学校長より

本校は、PTAボランティア制度が大変充実しています。そのPTAボランティアがそのまま学校応援団という形になって本校の学校応援団はスタートしました。そして、そのPTAボランティアの方々が卒業し、OB・OGとして学校応援団に参加して下さる形が整ってまいりました。学校応援団コーディネーターを中心として、すくすくスクールサポートセンター及びすくすくスクールのスタッフ、PTAボランティア、お父さんの会などが一つになって、清新第一小学校を応援する活動をして下さっています。多くの学校応援団の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。

清新ふたば小学校 学校応援団 実践報告書



1 校長及びコーディネーター氏名

清新ふたば小学校長 三柴 祐子
 コーディネーター 宮本 道子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	85人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書応援団 おはなしクローバー	毎週金曜日	30人
読書応援団 こびとの本屋さん	毎週第一火曜日	10人
TOMODACHI PROJECT (ともプロ)	不定期	10人
お花咲かせ隊	月1回	15人
見守り隊・歩き隊	不定期	20人

主な活動内容

- ・ 読書応援団（おはなしクローバー）
本の読み聞かせ、学期に1～2回程度のスペシャル企画を行う。
- ・ 読書応援団（こびとの本屋さん）
SSSと連携し、学校図書館等の掲示等を工夫するなどの環境整備を季節ごとに行う。
- ・ TOMODACHI PROJECT（ともプロ）
外国籍の保護者が安心して子供を学校へ送り出せるために交流を行う。
- ・ お花咲かせ隊
学校敷地内の環境整備活動を主事や飼育栽培委員会の子供たちと一緒にやる。
- ・ 見守り隊・歩き隊
PTA・地域の方と協力して、児童が安心・安全に通学したり遊んだりできるようパトロールを行う。
学校応援団本部会議を定期的に行い、今年度の方針等を精査し共通理解を図る。

おはなしクローバー



お花咲かせ隊



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

年度初めに TOMODACHI PUROJECT として、外国籍の保護者に対して、提出書類の書き方等について交流を行った。おはなしクローバーでは、新規参加者も含め、和やかな雰囲気での練習を重ね、団員の結束力も高めることができた。子供たちは、おはなしクローバーの時間を楽しみにしている。こびとの本屋さんでは定期的に活動を行い、学校図書館等の環境整備を行っている。新設したお花咲かせ隊は、委員会の時間を用いて定期的に活動した。児童とかかわりながらの活動を継続していきたい。

< 課 題 >

年度当初の保護者会等で活動について周知し、活動の充実と共に協力メンバーの増加を目指し、広報活動に取り組む。また、活動の年間計画をつくり、誰でも参加しやすい体制を構築していく。卒業生や学生ボランティア及び地域の人材を積極的に導入し、活動の幅を広げることができるようにする。

5 コーディネーターより

おはなしクローバーの読み聞かせ活動が活発に行うことができた。学期に1～2回実施したスペシャルは大変盛り上がった。TOMODACHI PROJECT は今年度えどイン・フェスにも参加。その時訪れた学生が興味をもち、後日インタビューを受けるほど、多文化共生に向け充実した活動を行っている。お花咲かせ隊は、児童との関わりをもちながら活動することができた。少しの時間であっても地域とのかかわりを大切に、活動を充実させていきたい。

各グループの活動の年間計画をつくり、時間を設定するなど誰でも参加しやすい体制を構築し、少しでも清新ふたば小学校の教育活動の支援ができればと思っている。

6 学校長より

清新ふたば小学校の教育活動をさらに充実させるためには、学校応援団団長・副団長を始め、各代表の方々そして多くのふたば小応援団の方々の支えが必要です。今年度も、子供たちのために様々な活動をしていただき、本当にありがとうございます。

今後も学校応援団の皆様のお力をお借りしながら、教育活動を推進してまいります。皆様の活動がますます充実していき、その輪が広がっていきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

臨海小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

臨海小学校長 西澤 盛和
 コーディネーター 高原 賢一

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	23人
	学生ボランティア	6人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回	各回15人以上
図書館整備	月2回	各回5人程度
登下校見守り	週5日	多数
安全教室	年1回	10人
環境整備	不定期	各回10人程度
挨拶運動	不定期	5人
校外学習の同行	不定期	各回10人程度



図書館の整備



登下校の見守り

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

○図書館の本の整理や修理、学年の実態に合わせて学級文庫を入れ替えたりされることで、児童が積極的に本に関わるようになってきた。また、季節に応じた飾りつけをしたことで、より親しみやすい図書館となった。

定期的な読み聞かせにより、児童が本に対する親しみを感じて興味関心が高まっている。

○日々の登下校を見守ることで、保護者が安心して児童を通わせることができている。

○校外学習等の同行ボランティアにより、安全確認に関わることができる人数が増え、より安全に活動することができた。それによって、担任も学習についての声掛けを多くすることができ、児童が楽しく学習することができている。

< 課 題 >

学校応援団として活動してくださっている保護者の方々が卒業等によりいなくなることで、ボランティアが減っている。より多くのメンバーを募っていく必要がある。

○「学校応援団」という括りでのボランティア編成が保護者の参加を躊躇させていることがある。より自由に参加ができるよう、呼びかけを工夫していく必要がある。

○これまでの活動を振り返り、子供にとってもボランティアにとっても学校にとっても、より良いものに変えていく姿勢が必要である。

5 コーディネーターより

○学校、保護者、地域が協力し合って、子ども達がよりよく学校生活を送ることができている。子ども達がいきいきと取り組む姿を見ていると、とてもうれしく思う。また、活動の中でもこれまでと違った新たな形で進めているものもあり、今までの活動にとらわれず子ども達にとってより良い支援の在り方を考えている。次年度も PTA や地域、学校応援団との連携を密にしつつ、頑張っていきたいと考えている。

6 学校長より

学校応援団の方々を始め、日頃から学校の教育活動のために様々な支援をしてくださっている保護者・地域の皆様に改めて感謝いたします。今年度は様々な場面でご協力をいただき、児童も楽しく生活することができています。特に、登下校の見守りでは児童の安全を守ってくださり、学校としても心強いです。また、児童が安心して学習できる環境づくりにもご配慮いただき、ありがとうございます。臨海小学校の子供たちの活動がより有意義なものとなっております。今後ご協力いただくことが多いと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

東葛西小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

東葛西小学校長 武内 広明
コーディネーター 横内 人志

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	97人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
芝生ボランティア	不定期	15人
本の読み聞かせ	不定期	32人
側溝掃除	年1回	50人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年度も6月に芝生を追加で植えました。少しずつですが、面積も増え、子供たちが校庭で遊ぶ上で怪我をしにくくなっていると思います。

また、子供たちが芝生を植えやすいよう、東葛西小学校おやじの会のメンバーがボランティアとして、土を掘りました。

子供たちは芝生を植える事で自然について触れる機会が増え、小学校への愛着も増えたと思います。葛西を拠点に活動するサッカーチーム東京23のメンバーも参加し、地域交流も図れました。

また、毎週土曜日8時から東葛西小学校おやじの会のメンバー・OB・そのお子さん達も参加し、芝生のメンテナンスを行なっています。

< 課 題 >

芝生は広がり、メンテナンスが重要となります。ボランティア人員を増やす事と、芝刈りと水やりを効率的に行う器具や設備を導入していく必要があります。

5 コーディネーターより

学校もPTAも、これまでをそのまま倣うことなく、今の時代にあった、学校行事・PTA行事を検討して実施してまいりました。

PTA保護者による、朝の挨拶運動や、校庭の側溝を60名程の保護者が参加して掃除する美化活動などを実施。

図書ボランティアも引き続き活動し、図書室の環境整備のお手伝いも実施しました。

また、保護者お父さんの集まりである、おやじの会が手動で、今年度も新たに芝生を植えて、場所を広げることが出来ました。

芝の面積が広がったことで、安全面だけでなく、小さな生態系もつくり、児童が校庭を利用する前の朝の時間帯には、芝生に潜む虫を食べに鳥がやってきて校庭を使っています。反面、幅跳びの砂場前の助走エリアにも芝が広がってしまっていたため、学校からの要請をうけて、助走エリアの芝の移設作業を行いました。

その他、おやじの会企画の子供向けイベントも開催。無事盛況に終わっております。

今後も、東葛西小学校に関わる大人の力を結束し、様々な環境整備と子供たちへ多くの体験・経験を届けていけることを期待します。

6 学校長より

今年度本校の体力向上の取組で使用している、校庭の遊具の周辺を中心に、怪我の防止等を目的に芝生の植込みと手入れをしていただき、大変感謝しております。また、平成22年より活動していただいている図書ボランティアの皆さんの朝の読み聞かせは、児童の楽しみの一つです。様々な本に触れ、興味をもち本から本へと繋がる楽しさを知ることができています。

今後も、学校応援団の方々と連携し、子供たちが育った地域や母校を大切にできる心を育むことができるよう、教育活動を行っていきます。

瑞江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

瑞江小学校長 牧岡 優美子
 コーディネーター 花輪 牧子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
朝の交通安全見守り	登校時の安全見守り	5人
下校時安全見守り	すくすくスクール下校時の安全見守り	4人
花ボランティア	校内畑・花壇の整備、畑での学習支援	18人
読み聞かせ	朝学習時、全学級での本の読み聞かせ	17人
図書室整備	本の修理や書架の整頓、図書室の整備	17人
瑞小まつり	模擬店（焼きそば）の出店	8人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

畑や花壇の管理を担当する「花ボランティア」は主に畑の整備・管理を行っています。児童の学習用に植えた作物の管理のほか、季節に合わせた花や野菜の整備を行い、年間通して畑や花壇を華やかにしました。植え付けや収穫の際には、作物に関する話や作業の仕方の説明などを行い、学習支援においても活躍しました。

「読み聞かせボランティア」は、令和6年度は年間24回の読み聞かせを実施しました。読み聞かせした本を毎回ノートに記録し、読書科担当教諭と情報共有をしています。また「図書館整備」は、実際の図書館と同様の分類にするとともに、児童が図書に親しみやすく使いやすいよう整備しています。さらに、学年ごとにお勧めの本を選んで定期的に学級ごとに配布し、教室で読めるよう工夫しています。図書館司書とも情報共有し、図書室整備を協力して行っています。

町会を中心とした地域の皆様には、登校時における門前での挨拶や、すすくすくスクールからの下校時などに見守り隊として児童の安全確保、健全育成のための協力をいただいています。

その他に、小松菜畑見学・各種事業所見学等にも町会・地域の方々の協力をいただいています。

< 課 題 >

「読み聞かせボランティア」活動は、コロナ禍で活動が中止になって以降、保護者の参加が減ってしまいOB・OGの方の協力なしにはできない状況です。「見守り隊」については、町会からの参加者が減少傾向のため、存続の是非を検討しているところです。新しくボランティア活動に参加してくださる方が少ないところが課題です。

花ボランティアは参加者の方々が徐々に高齢となり、今後も活動していくことができるようリーダーの引継ぎを模索しています。

5 コーディネーターより

登校時の旗振りやあいさつ運動、すすくすくスクールの下校時の安全見守りの活動を通して、子どもたちの安心安全な学校生活を支えることができました。

有志のお父さんで構成したグループ「ダディース」の中には、OBの方もいらっしゃいます。参加メンバーが明確になっていないので取りまとめをしてくださっているお父さんと相談し、名簿を作成しています。OBの方も安心して活動いただけるよう保険加入を進めていきます。

花ボランティアでは、地域の方を中心に子どもたちの学習の場である畑や花壇の整備をしていただきました。継続して活動いただけるようPTAや町会とも連携し、計画を立てていきます。

6 学校長より

本校の学校応援団は「花ボランティア」「読み聞かせボランティア」「挨拶・見守り隊」が主な活動です。「花ボランティア」は毎週土曜日の午後、年間を通して地域の方々が集まり、苗植えから草取り、整地、植え替え等の活動を継続して行っています。今年度も猛暑の中、毎日数回水まきや、ひまわり迷路の整備をしてくださり、子どもたちの学習活動を充実させてくれました。大きな大根やきゅうり、ジャガイモ、サツマイモ等の野菜をボランティアの方々と一緒に収穫し、食育にも役立てることができました。「読み聞かせボランティア」では、金曜日に各学級の読み聞かせを子どもたちが楽しみにしています。「挨拶・見守り隊」は、登校時の挨拶やすすくすくスクールの下校時の見守りで、子どもたちの安全を見守ってくださっています。本校の子どもたちを支えてくださる熱い思いに、感謝しかありません。今後も「チーム瑞江小」として、学校応援団の皆さんと一緒に教職員一同、力を尽くしてまいります。

春江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

春江小学校長 小林 麻子
 学校応援団団長 芦田 孝二 コーディネーター 三羽 由紀子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	149人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書活動支援	各学年 月2回程度(水・金)	99人
学習活動支援	不定期(必要に応じて)	14人
安全安心支援	毎朝の登校時の見守り	10人
栽培活動支援	不定期(必要に応じて)	26人



【読書活動支援 環境整備】



【学習活動支援 環境整備】

< 成 果 >

- ・読書活動支援（読み聞かせ・校内環境整備）では、各学年とも月に2回程度の応援団の方々による読み聞かせ活動を行った。子供たちにとっては読書の楽しさに触れるよい機会になるとともに、保護者の方にも教育活動に参画していただく場となった。また、各階に読書に関わる掲示や学校図書館整備の作業を進めることができた。
- ・安全安心支援では、毎朝の登校の見守り活動を行った。見守りを通して安全の確保をしていただいただけでなく、挨拶を通して交流することができた。
- ・学習支援では、体力テスト（ソフトボール投げ）の補助を行った。それによりボールを投げるテンポが早まり、スムーズで安全な取組に繋がった。
- ・栽培活動では、夏場の暑い中数日に分けて学校園の草取りを行っていた。
- ・ドッジビーやネオホッケーの練習会を月に1～2回程度開催することができた。また子供たちに大会の参加を呼びかけ、出場に繋がった。
- ・活動の様子を保護者に参観していただくことで、学校応援団の活動に関心をもってもらうことができた。また、それぞれでLINEグループを作り活動について共有したり、連携を図ったりすることで充実した活動になった。

< 課 題 >

- ・応援団の活動について経験のない方にも気軽に参加していただけるよう、情報の発信や活動時間の設定等、見直しを図る。

5 応援団長より 芦田 孝二

「だれでも参加できる応援団」を目指して、全ての地域の方や保護者に分かりやすい活動を目指して取り組んできました。「できる時にできる人が、できることを。安全で元気で楽しい学校生活を子供たちのために」の精神は確実に春江小学校の学校応援団のポリシーとして根付いています。

今年度は体力テストにおけるソフトボール投げやドッジビー、ネオホッケー等のスポーツ支援や、農園ボランティアによる草むしり等の活動も定着してきました。またボランティアしてくれる保護者の数も増えてきており、より広がりを見せています。

今後も、春江小学校学校応援団が充実していけるよう、心がけていきます。

6 学校長より 小林 麻子

学校応援団の皆様には、今年度も様々な教育活動でたくさんのお力添えをいただき、深く感謝しております。本当にありがとうございます。登校時の見守り、読み聞かせ・校内掲示、畑の草むしり等に取り組んでいただいたことで、子供たちの学校生活が安全で楽しく豊かなものになりました。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

新堀小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

新堀小学校長 佐藤 永樹
コーディネーター 笠井 雅世

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	80人
	学生ボランティア	2人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り隊	不定期（毎日）	8人
校外学習の安全の見守り	校外学習時に要請	30人
運動会学芸会行事ボランティア	年3回	20人
読み語りボランティア	年3回	20人
学校図書館整備ボランティア	月2回	15人
新堀小フェスティバル	年1回	30人
ふれあいガーデン作り手伝い	年1回	2人
さつきのさし芽指導	年1回	4人



4 今年度の成果と課題



< 成 果 >

運動会や校外学習、マラソン大会など学校行事の実施に対し、安全対策を十分に考え、快くボランティアを引き受けてくださった方々のおかげで、滞りなく運営ができた。

「ふれあいガーデンづくり」では環境委員会の児童とたくさんの花を植えることができた。また、今まで花植えのボランティアに参加していた方が、今年度も家で寄せ植えを作って学校玄関に飾ることを継続してくださっている。

「読み語りボランティア」・「学校図書館整備ボランティア」は、事前に児童や担任にアンケートを取って読む本を選定したり、学校図書館支援員と協力して整備を進めたりするなど、連携して活動できた。お父さんの会の「夏祭り」はコロナ後の再開から2回目を実施予定だったが、台風の影響で残念ながら中止となった。

「新堀小フェスティバル」は今年で3回目となった。児童が準備した各ブースに加え、学校応援団の「防災クイズコーナー」もある、大変にぎやかな会を実施できた。12月には、地域に住む相撲部屋の親方と十両に昇進した息子さん（本校卒業生）に来ていただき、「ちびっこ相撲大会」を開催した。みんなで力をもちより、年々盛り上がりが増してきていることは、大きな成果である。

< 課 題 >

活動人数、人材の確保が継続した課題となっている。また、運営側にも舵取りをする経験者が少ない現状がある。一部の方に負担を偏らせず、皆で進めていくための方法を考えていきたい。中心となって活動してくださる方や保護者の方の参加を促進していくことが今後の学校応援団の充実につながると思う。

5 コーディネーターより

今年度は、これまでより活動を増やすことができました。防災教育を絡めた「餅つきフェスティバル」を2月に開催する運びとなったことはうれしい限りです。これからも開催方法の工夫を考えていきたいです。今後も子供たちのための活動を学校とともに積極的に行っていきたいです。

6 学校長より

学校応援団が主催する「新堀小フェスティバル」での「ちびっこ相撲」は3年目を迎えた。防災教育を絡めた「餅つき大会」を2月に開催してくださることもありがたい。開催にこぎつけることができたのは、コーディネーターの尽力の賜物である。今後も継続していくためには、協力してくださる人材確保等、いくつかの課題解決が必要である。

下鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田小学校長 黒澤 義和
 コーディネーター 宇佐美 慎一（応援団長）

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	74人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
交通安全	毎日	9
図書ボランティア	読み聞かせ学期に各学級1~2回 図書室の整備月に数回	45
栽培ボランティア グリーン	随時	20



毎朝、交差点に立って子供たちの安全を守っています。



子供たちが興味のある本を選び、臨場感たっぷりに読み聞かせをしています。



学習で使う植物の栽培や、学年園の整備を支援しています。夏休みには近隣の公園に設置する樹木プレートを作成しました。



季節やイベントを意識して、図書館の飾りつけをしています。

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

交通安全は9名の学校応援団に加え、地域の協力者5名により、毎朝の児童の登校見守りを実施した。主要な信号だけでなく、車通りの多い交差点に立って、無事故に終えることができた。

図書ボランティアは読み聞かせや図書室壁面の装飾など、保護者を中心にそれぞれの都合のよい時間を見つけて実施した。読み聞かせでは、児童の発達に合わせて選書することで、児童は興味関心をもって物語に聞き入っていた。

栽培ボランティアは理科教材の栽培補助だけでなく近隣公園の「樹木プレート」制作を行った。夏休みには児童対象の樹木プレート教室を実施し、85名の児童が参加した。制作した樹木プレートは近隣の公園の樹木にかけられ、好評を博している。

< 課 題 >

それぞれの部門で、地域や保護者の力を借りながら子供たちの成長を応援することができた。来年度は7月に校舎移転があるため、栽培活動をする場所がなかったり、登下校時の児童の流れが変わったりと学校応援団の活動にも影響が予想される。来年度に向けて、円滑に移行できるよう対応を考えたい。また、今後、人員不足が予想される部門もあり、現役の保護者や地域の方のお手伝いの方など、ボランティアの数を確保していくことが課題である。

5 コーディネーターより

昨年度誕生した新下鎌田小学校の学校応援団「交通安全」「図書ボランティア」「栽培ボランティア グリーン」は、今年度も充実した活動を実施することができました。

どの部門もそれぞれの立ち位置で、「できる人が、できるときに」をモットーに、子供たちの安全のため、よりよい学校生活のために活動してきました。

来年度は7月に新しい校舎への移転があり、子供たちも楽しみにしていることと思います。場所が変わることで学校応援団の活動内容に変更が必要なものもあるかもしれませんが、今後も地域と学校、保護者が一体となり、子供たちのさらなる成長に向けて活動していきます。

6 学校長より

今年度も学校応援団の皆様には、安全、読み聞かせ、学年園や花壇の整備など学校だけでは手の届かないところにきめ細かく対応していただきました。今年度は、昨年までの活動に加えて夏休みには児童を対象に樹木プレート作りを実施し、たくさんの児童が参加しました。お陰様で教育活動がより充実したものになりました。

子供たちの健やかな成長には、学校だけでなく、学校応援団をはじめとした地域の力も不可欠です。来年度は校舎の移転があり、今までになかった課題も出てくることと思いますが、今後も、皆様の力を借りながら、子供たちの更なる成長のため学校教育の充実を図ってまいります。引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

下鎌田東小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田東小学校長 山本 浩一
 コーディネーター 棚橋 義隆

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校行事支援	学期2～3回程度	15人
登下校見守り	週5回	10人
体育大会ボランティア	1週間程度	10人
ひがしボランティア	学期1～2回程度	10人
環境整備	学期に2～3回	5人



環境整備

体育大会ボランティア



音楽会

様々な学校行事において、児童の見守り、保護者の誘導、会場整理のご対応をしていただくなど、教育活動へのご支援をいただいております。

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 今年度は新型コロナウイルス感染症の制限が完全撤廃となり、通常の教育活動が戻ってきました。久しぶりに夏には盆踊りが開催され、たくさんの児童が地域のお祭りに参加することが出来ました。6年生の体育大会に向けては、それぞれの競技に保護者ボランティアが入り安全に配慮し、練習を行うことが出来ました。その他にも、様々な学校行事等の支援にご協力をいただきました。教育活動を全て戻すのではなく、内容を精選したり工夫したりして取り組んできました。計画的に準備をしていただいたおかげで円滑に学校行事を行うことができたとともに、児童の見守り、特に今年度は運動会や音楽会での保護者の誘導、会場整理のご対応をしていただくことで一同、安心して児童の指導に専念することができました。また、学習支援等にもご協力いただき、児童の安全管理を行っていただく中で、頑張りを認め励ますとともに優しく丁寧に支援をしていただき、子供たちも安心して意欲的に学習課題に取り組むことができました。

< 課 題 >

- 各活動が感染症の流行により、一度縮小されたことで、以前と同様の規模や内容で復活が難しい場合もありました。今後は、現在の学校行事の在り方や教員の働き方改革、ボランティアの方々のかかり方等について検討を進めていきます。
- 活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいこともあるので、本校の教育活動をより多くの地域の方々に知ってもらうよう、さらに働きかけを進めていきます。そして様々な地域の方々に関わっていただけるように地域や町会の方々との連携を深めていきます。

5 コーディネーターより

- 本校は、地域の大きな力添えをいただきながら、地域とともに歩んできております。町会や地域の各施設の方々、PTA役員、ひがしボランティアなど、様々な組織が学校の教育活動を支援しています。今年度は、感染症の制限が完全撤廃され、学校や地域での活動などがほぼ元に戻ってきました。これまで様々な取組が行うことができなかったため、引継ぎができていないこともあります。今後も、様々な状況を判断して課題解決を図り、学校、PTA、地域が連携して子供たちのためにできることに取り組んでまいります。今後とも多くの皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

6 学校長より

- いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。町会や地域の方々をはじめ、PTA役員の方々等、多くの皆様に教育活動を支援していただいております。本年度は、「一歩前へ！」をスローガンに掲げ、コロナ後のその先に行く教育の充実を目標とし、学校行事等を工夫しながら進めてまいりました。そのような中、年間を通して本校の様々な教育活動を支えていただきました。おかげさまで、安心・安全な教育活動を進めることができています。子供たちも、日々の教育活動をとおして、明るくたくましく育っております。保護者・地域の方々に信頼され、集いの中心となる学校を目指し、今後も皆様のお力をお借りしながら、学校の教育活動をより一層充実させてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

江戸川小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川小学校長 江島 しのぶ
 コーディネーター 三田 栄一郎

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	37人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	図書館整備・充実（月1回第3木曜日）	14人
読み聞かせボランティア	児童向けの読み聞かせ（月1回）	3人
旗振り・見守りボランティア	登校時の児童の安全確認（毎朝）	18人
学校施設充実ボランティア	学校施設の修繕、什器備品の制作、 樹木の剪定（週2～3回）	1人
藤棚整備ボランティア	藤棚の剪定（年2回）	1人



図書館整備



登校時の見守り



登校時の見守り



学校施設の充実



藤棚の剪定



読み聞かせ

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・今年で、江戸川サポーターズクラブとしてボランティア制に移行し、3年が経過しようとしておりますが、活動をさらに充実させることができました。特に、図書館整備や旗振り・見守りボランティア、学校整備充実ボランティアでは、年間を通して江戸川小学校をサポートしていただきました。
- ・旗振り・見守りボランティアでは、暑い日や寒い日、天候の悪い日でも、子どもたちの安全を守るために1日も欠かすことなく見守っていただきました。新たに加入する方を迎え、18名で交差点や横断歩道の旗振りをすることができました。
- ・学校整備充実ボランティアの方は、学校の破損したものの修繕だけではなく、あったら助かるものや便利なものを制作していただきました。また、体育館の校歌を修繕していただいたおかげで、古くなっていた塗装や色がきれいになり、子どもたちも教職員も大喜びでした。
- ・図書館整備では、図書館内の整備だけに留まらず、最近では、新聞の切り抜きなどをポスターにまとめ廊下に掲示しています。図書館が整備されるだけでなく、校内の雰囲気明るくなり、本に親しむ子や読書好きの子を増やすことにつながっています。

< 課 題 >

- ・年々ボランティアしていただける方が減っている傾向にあります。そのため、活動する方が負担に感じないように気を付けています。作業が多くなってしまったり、同じことを繰り返したりすると、ボランティアは長く続きません。これからも江戸川小学校を支えていただけるように、改善や工夫をしていくことが大切だと考えています。

5 コーディネーターより

- ・「江戸川サポーターズクラブ(ESC)」は、早いもので6年が経過しました。新型コロナも5類に移行し、コロナ禍前の活動に戻ってきました。ボランティアの方々には、引き続き江戸川小学校の子どもたちのためにご協力をいただいております。
- ・読み聞かせをはじめ、図書館ボランティア、旗振り・見守りボランティア、藤棚ボランティアなど、今年度も充実した活動で学校をサポートしていただきました。学校応援団の取組について、ご理解とご支援を賜りました皆様に心より感謝を申し上げます。

6 学校長より

- ・本校では、「学校応援団」の活動に対してより親しみをもつていただくために、「江戸川サポーターズクラブ(ESC)」と令和元年度より名称を変更しました。「江戸川サポーターズクラブ」では、学校の教育活動を支援される皆様が協働で子どもたちの学習環境の充実に向けた活動を行っております。
- ・関係者の皆様には本校の教育活動を支えていただき、深く感謝申し上げます。今後も新しく活動に参加して下さる方が増えるように、サポーターの皆様との連携や協働を推進していきたいと思っております。

一之江小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

一之江小学校長 伊藤 秀一
コーディネーター 牧島 孝行

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	9人
--------------	----------	----

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
本よみ隊！	学期に2～4回	9人

令和7年1月18日 土曜日授業の「本よみ隊」の様子



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

新校舎に移転してから今までのような活動が出来なくなり、その間活動を休止するか続けるか、また続けるとしたらどのような方法で行うかなど、先生方とも話し合い、検討してきました。保護者を対象にアンケートを行い、様々な意見を頂くことができました。その中に、学校公開の日なら協力できるとの声が多かったため、まずは試しに1月の学校公開の中休み、1年生3クラスのみを対象に5分程度読み聞かせを行いました。1年生にとって保護者による読み聞かせは初めてで、興味津々の表情で聞いていました。久しぶりに嬉しそうな子供たちの顔を見ることができ、また保護者の方からも、やっぱり読み聞かせいいね、というご意見を頂きました。



保護者の読み聞かせに、興味津々で聞き入る児童たち

< 課 題 >

中休みでの実施は、トイレ休憩や次の時間の準備もあるため、予想以上に時間がありませんでした。また今回は学校公開だったため、先生が次の授業の準備をする余裕がなかったのではないかと感じました。本を読んでいる間、先生は準備をしてくださって構わないのですが、最初と最後の挨拶や声かけが必要な子供もいるため、やはり時間をとって頂くことになってしまいます。学校公開の日の土曜日なら協力できるが平日は難しい、という保護者の意見が多かったのですが、中休みの実施は難しいのではないかと考えています。ただ、学校公開の日であれば多数の保護者の協力を得ることができるため、さらなる検討が必要です。

5 コーディネーターより

令和6年度から改築工事に伴い、一之江小学校は旧二之江第三小学校に移転しました。学校は、地元から離れた所にありますが、今まで同様に支援して参ります。

子供たちの笑顔を大切に、これからも学校応援団としてできることを考え、多様な体験の機会が持てれば嬉しく存じます。子どもたちの健全な成長を目指し、小中連携も念頭に、地域の学校としての一之江小学校を支えていくことに力を尽くしていきます。

6 学校長より

今年度より校舎建て替えのためスクールバスによる通学が始まりました。地域から離れて教育活動を進めることになりましたが、子供たちは校庭やプール等が使える、工事の音や振動が気にならないことから、これまでと変わらず学校生活を楽しく送っています。地域の皆様との活動については、様々な工夫が必要になりました。アイデアを出し合いながら前に進めていきたいと考えております。今後も、学校応援団の皆様と手を携えて一之江小学校がさらに地域に誇れる学校となるよう励んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

一之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

一之江第二小学校長 木村 紀朗
コーディネーター 溝口 泰志

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	65人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
金魚会 (子供活動応援団)	PTA ふれあいまつり手伝い・凧あげイベント 不定期	15人
ぐりぐら会(環境応援団)	毎月の整備 ・図書整備 本の分類・整理、修復等の実施 ・図書室の装飾、特設コーナーの設置	15人
いち・にの・くれよん (読書活動応援団)	読み聞かせ 毎月1回	25人
見守り隊 (安全・安心応援団)	登下校時の安全の見守り 週5回	10人



ぐりぐら会



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・金魚会（子供活動応援団）の行事は、凧あげイベントを開催することができた。子供たちの多くが初めての経験となり、自分で作った凧を校庭であげることを楽しむことができた。
- ・学校図書館の整備は、計画的・定期的に環境整備を進められた。季節感に満ち溢れた装飾により、楽しい雰囲気の中、児童が学校図書館を利用している。また、オススメ本が展示され、気軽に親しむことができています。
- ・読み聞かせを継続的に行うことができ、児童は学年を問わず、お話の世界に浸ることができた。豊かな情操を養っていく上でも、有効であった。

< 課 題 >

- ・継続していくためには、人材の確保していくことが必要であり、そのために活動を広めていくことが今後の課題と考える。

5 コーディネーターより

学校応援団は、学校と地域、そして保護者が協力して子供たちにとってよりよい環境づくりを推進するというを大切に運営してきました。

学校応援団の全ての活動を行うことができました。子供たちの経験が深まり、多くの「楽しい」「うれしい」を感じられる活動となるように考えてきました。今後も、子供たちのために保護者や地域と協力して、一之江第二小学校応援団の活動内容を可能な形で、充実したものにしていきたいと考えています。

6 学校長より

学校応援団の取組は、学校を応援してくださる皆様のご理解とご支援をいただきながら、安全対策を講じて実施されています。

地域安全「見守り隊」の皆様による下校時の見守りでは、挨拶を通して子供たちとのふれあい生まれています。「いち・にの・くれよん」の皆様による読み聞かせは、子供たちとの交流もあり、心のつながりが深まっています。「ぐりぐら会」の皆様による図書館整備は、子供たちの目にはふれない活動風景ながら、装飾や推薦図書の展示を見ながら感謝の気持ちをもっています。そして「金魚会」の活動は、多くの子供たちが他学年と楽しみながら交流する機会となっています。

今後も「人の和」を大切にしながら「笑顔あふれる一之江第二小学校」を目指して地域・保護者・学校応援団とともに、取り組んでまいります。

鹿本小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

鹿本小学校長 奥村 孝史
 コーディネーター 飯沼 俊雄

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	48人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学習ボランティア	週4回 1・2年生算数補助 不定期 習字指導補助 図工指導補助	14名
お話バンビ (図書ボランティア)	読み聞かせ 週1回(毎週金曜日) 学校図書館環境整備月2回	10名
おやじの会	7月13日(土)水鉄砲大会を開催。	10名
子供見守り隊	朝の登校時週5日、 6月、12月の一斉下校時各1回	14名



学習ボランティアによる書写指導補助



お話バンビによる読み聞かせ活動

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

[学習ボランティア]

- ・今年度は、週4回、1・2年生の算数指導の補助を行った。年度初めから入っていたき、参加するボランティアの人数も増え、活動が定着してきた。また、習字や図工のくぎ打ち、ノコギリ等、安全面で複数の手が必要なときに活動を行っていただいていた。学習の進路に差があるため補助していただくことで、とても助かった。

[図書ボランティア(おはなしパンビの会)]

- ・学校図書館の整備や壁面装飾の作成、読み聞かせの練習・講習等を月に4回程度行った。学校図書館廊下の掲示も工夫して作成していただき、学校図書館の環境も整い、使いやすい学校図書館になっている。児童の読み聞かせは、毎週金曜日の朝読書の時間に全学年で4クラスずつ行った。読み聞かせの活動は定着しており、児童も楽しみにしている。

[おやじの会]

- ・おやじの会が主催して、7月13日(土)に水鉄砲大会を行った。児童からは、「またやりたい。」等の言葉が多く聞かれた。また、運動会の時にはテント張りやくい打ち等、男性の力が必要な活動の時には協力していただいている。

[子供安全見守り隊]

- ・登校時間に、地域に立っていただき、児童の安全を見守っていただいた。また、6月と11月の一斉下校の日には、子供見守り隊の方にも参加していただき、登校班ごとに児童との下校に付き添っていただいた。

< 課 題 >

- ・学習ボランティアや子供安全見守り隊に参加してくださっている方はご高齢の方が多くいらっしゃる。若い新しい方の参加がほとんどない状況である。新しい若手のメンバーを増やすことが大きな課題である。高齢の方も多くいらっしゃる中、どの程度の活動をお願いしていくか、どの程度の頻度で活動していただくかを今後検討し、活動を継続していきたい。

5 コーディネーターより

コロナ以降、学校に出向くことができず学習ボランティアの活動は全くできなかった。以前、活動ができないことで、メンバーの気力が無くなることの心配や、現在の1年生から4年生は学習ボランティアとの関わりが無いことから、再開した際に上手に関われるかが心配であった。しかし、昨年度の3学期から徐々に活動を再開することができるようになった。1・2年生の算数の学習にボランティアとして参加し、楽しく充実した活動ができている。今後、他の教科でのお手伝いもしていきたい。学習ボランティアの活動が一度止まってしまったことで、新しい若い方がボランティアに加入していないという課題もある。このままの状態を一旦終わりにしてもいいのではないかという意見が出たこともあったが、学校と相談し、今後も続けられる範囲で学校応援団の活動を進めていければと思う。

6 学校長より

今年度は、年度初めからたくさんの学習ボランティアの方々に様々な学習にご協力いただいた。この素晴らしい活動が感染症の影響で中断していた期間もあったが、昨年度から次第に復活し、今年度は学校応援団の活動も軌道に乗り活発になってきた。地域や保護者の皆様に愛され支えられる風土を大切に、今後も活動を続けていきたいと思っている。学校応援団の皆様と共に子供たちの教育活動を充実させていきたい。

鹿骨小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨小学校長 渡邊 浩輔
コーディネーター 進藤 康之

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	17人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
屋上ガーデンボランティア	不定期	5人
花火会ボランティア	年1回	13人
漢検・数検ボランティア	年2回	5人

屋上ガーデン
「雑草抜き→種まき→収穫」
小松菜を育ててみました。



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年度も地域の小松菜農家の方が全面的にサポートしていただき、3年生を中心に小松菜やラディッシュの栽培を行った。畑づくりや種まきの際は、保護者ボランティアの方も参加していただき、昨年度に引き続き児童にとって貴重な体験となった。今後も学校応援団を中心に運営していく中で、より多くの保護者や地域の方の参加を促していきたい。

昨年度に引き続き、夏季休業中に、本校校庭で、学校応援団主催の夏祭り（花火会）を実施した。昨年度より参加者も増え、親子で思い出となるイベントとなった。また、当日は、多くのボランティアの方が準備や見回りをしてくださり、安全・安心な運営につながった。

< 課 題 >

協力してくださるボランティアの方が固定化してしまう傾向は変わっていない。学校ホームページや配布物等を活用して保護者への呼び掛けを活発にし、学校応援団の活動に興味を持っていただくとともに、参加しやすい環境を整えていくことで、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。

今年度末で閉校となり、令和7年度には松本小学校との統合が控えている。来年度以降は、両校でこれまで取り組んできた内容を整理し、統合後の学校応援団の活動の在り方や内容について、計画的に調整する必要がある。

5 コーディネーターより

○今年度も、これまでご協力いただいたボランティアの方々に引き続き参加していただくだけでなく、新たなメンバーも迎え、充実した活動を行うことができました。特に、屋上ガーデンは、昨年度に引き続き地域の方のご協力もいただき、子供たちにとってもよい体験となったようです。本当に感謝しております。

令和7年度には統合も控えており、今年度は、鹿骨小学校最後の年となります。学校応援団として、子供たちにやってあげられること、喜んでもらえることをこれまで以上に意識しながら、学校と連携して、活動していきたいと考えています。

6 学校長より

今年度のスローガンを「一步先へ」とし、学習面でのサポート、レクリエーションでのサポート、安全のサポートなど、多岐にわたる活動をしていただきました。これらの活動は、子供たちと対面した形での活動が多くありました。子供たちは、学校応援団の皆様の活動を通して、これから地域に貢献していこうとする心が育っています。これからも、学校応援団の皆様とともに、楽しい取組、地域への貢献について考え、実践していきたいと考えています。

鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨東小学校長 中田 伸代
 コーディネーター 杉田 省吾

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	83人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全・安心見守り隊	週5回	21
図書ボランティア	学校図書館週1回 児童読み聞かせ月1回	16
グリーンボランティア	不定期 学校菜園の整備 米作りの指導・助言	16
環境整備（おやじの会）	不定期 学校の側溝清掃 各種イベントの企画・運営	30



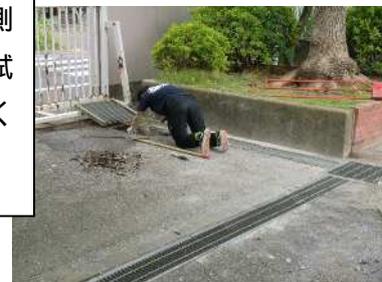
安全見守り隊が毎日の登校を見守ってくださります。



おやじの会の皆さんが、田んぼの整備や側溝掃除、まつりや肝試しを企画・運営して下さいます。



グリーンボランティアの皆さんが、田植え指導をして下さいます。



松本小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

松本小学校長 吉田 佳代
 コーディネーター 二村 寿三

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	61人
	学生ボランティア	3人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーン ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・農園や校庭果樹の管理 [通年] ・果樹・作物の栽培、収穫の指導と補助 [通年] みかん (1年) さつまいも (2年) 小松菜 (3年) 梨 (4年) 稲 田んぼでの田植え、稲刈り、脱穀 (5年) 柿 (6年) ・校庭の芝生の管理 [通年] 	5人
「心のごはん」活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級での読み聞かせ [毎月1回] 	9人
安全・安心の見守り活動 朝の挨拶運動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、登校時の安全見守り [通年] (通学路の交差点、横断歩道等で) ・毎朝、正門・東門での登校時の安全見守り、挨拶の言葉かけ [通年] 	14人
ヤギのお世話	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が休みの時のやぎのお世話 [通年] 	36人



挨拶運動



やぎのお世話



田植え



心のごはん



さつまいも掘り



梨の袋掛け

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・実のなる木の受粉や摘果、稲（米）やさつまいもの栽培では、学校応援団の方が中心となり、たくさんの支援をいただいた。その結果、多くの実りを得ることができたことにより、児童の豊かな気持ちを育むことができた。
- ・学校応援団の方々の継続的な「あいさつ運動」により、元気に挨拶できる児童が増えてきている。積極的に朝の挨拶に参加する教職員も増え、学校全体に挨拶をする機運が高まってきている。
- ・やぎのボランティア活動では、「人が好きで人が来るのを待っていて、鳴いて出迎えてくれます。」「とてもかけがえのない経験です。」など、やぎの世話を通してさまざまな感想が聞かれるようになった。子どもたちもなかよし班（異学年交流の班）をとおして、世話を一生懸命行っており、命の大切さを感じるよい機会となっている。

< 課 題 >

- ・「心のごはん」では、メンバーが固定化しており、更に輪を広げて活動する人の数を増やしていきたい。現役保護者の参加を定着させ、さらに人数を増やしていくことが、今後の継続的な活動につながると考える。
- ・鹿骨小学校と松本小学校が統合するので、これまでの両校の活動のよさを残しつつ、来年度の計画を考えていく必要がある。

5 コーディネーターより

今年も「松小の子どものために活動しよう」「できることから始めよう」「続けていこう」の三本柱をモットーにして、日々地道な活動を行ってきました。

「心のごはん」では、真剣に読み聞かせを聞く子どもたち、「グリーンボランティア」では、梨やさつまいも、米を収穫して喜ぶ子どもたち、「挨拶運動」では、元気に挨拶を返す子どもたちの姿を見ることができました。子どもたちの満面の笑顔が、我々の次の活動への活力になりました。

松本小学校は、今年度で閉校となります。これまでの活動が、統合した後も子どもたちにとって、松本小のよき思い出になることを願っています。これまでの活動へのご支援、ご協力をありがとうございました。

6 学校長より

今年度も学校応援団の皆様には、「グリーンボランティア活動」「朝のあいさつ運動」「心のごはん」「やぎのお世話」「安全・安心見守り活動」と、多大なるお力添えをいただき、ありがとうございました。皆様のご協力があり、他ではできない様々な体験と共に、児童のたくさんの笑顔を見ることができました。

5年生では「稲の栽培」に取り組む際、田植え・収穫・脱穀などに関する支援をたくさんいただき、児童にとって有意義な体験学習ができました。また、「梨の栽培」では受粉から収穫まで、児童にずっと寄り添って丁寧に指導していただき、実の収穫の喜びだけでなく、豊かな心も学校と一緒に育んでいただきました。

今年度で松本小学校は閉校となります。これまで児童の健やかな成長のためにご尽力いただいた「松小応援団」の皆様方に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本一色小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長 末松 睦士
 コーディネーター 吉野 誠司

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	61人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(隔週水曜日)	30人
図書館壁面装飾	月1回(第1木曜日)	22人
農園整備	不定期	1人

学校園での活動



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださった。読み聞かせを通して、子どもたちは本に親しみをもつようになっている。
- ・図書館装飾ボランティアは、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の整理や新しい本の購入にも取り組んでくださり、図書館がより活用しやすくなった。
- ・地域の方から貸して頂いている学校園での活動を通して、子供たちが楽しみながら様々な気付きや発見をすることができ、とても貴重な体験となった。

< 課 題 >

- ・学校応援団の取り組み活動内容を保護者や地域の方に周知しているが、メンバーが集まりにくいことが課題である。学校便りやホームページ等で広くその活動内容を知らせ、関心をもっていただく。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。そのおかげで、子供たちの教育活動が充実したものとなっています。これからも、多くの方に学校応援団の仕組や活動について、協力していただくことが必要です。地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、PTA・学校と連携を深め、学校の活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6 学校長より

学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍してくださいました。本に親しむことを通して豊かな心の育成につながっています。また、ゲストティーチャーとして授業に協力していただいた方も多くいらっしゃいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になるので、学習意欲の向上につながります。ご多用の中、今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎小学校長 佐藤 美緒
 コーディネーター 佐々木 堂至

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	34人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備ボランティア	不定期(月3回程度)	15人
読み聞かせボランティア	隔週火曜日	9人
農園栽培ボランティア	不定期	15人
凧作りボランティア	不定期	20人
登下校見守りボランティア	不定期	2人

読み聞かせの様子



図書館整備の様子



農園活動の様子



凧揚げの様子



登校の見守りの様子



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

○図書整備ボランティア

4月より、学校図書館で授業がない時間や児童が使用しない給食の時間に2～8名程度で集まって学校図書館の本の整理や清掃・補修、また学校図書館内の季節ごとの装飾等を行ってくださった。新校舎の使用にも慣れ始め、工夫の幅が広がったことに大変感謝している。また、図書館職員とも連携し活動できていた。新しい学校図書館の新鮮さを維持できるよう、そして児童が気持ちよく読書活動ができるよう、常に子供目線を取り入れた環境作りを続けてくださっていた。

○読み聞かせボランティア

今年度は、5月から読み聞かせボランティアがスタートした。季節や行事に合わせた本を選択し、読み聞かせを行ってくださったり、書画カメラで拡大して見せてくださったりすることで、学年を問わず集中し、楽しんで本の世界を味わっている。ボランティアの方もいつも楽しみながら取り組んでくださっている。それが子供たちにも伝わっており、身を乗り出し聞き入っている児童がいるクラスもあった。

○農園栽培ボランティア

4月早々から農園の看板の塗装作業に取り組み、見やすくしていただいた。1年生の「いもほり」の活動では、ボランティアの方を中心に、学年の保護者の方々も数多く集まった。1年生が掘り起こしやすいように整備して下さったり、掘った後に丁寧に切る切りをしていただいたりした。そのため、児童の活動を効率よく進めることができた。また、水まきや雑草抜き、畑を耕し作業等、農園の状況を見ながら声を掛け合って取り組んでくださった。

○凧作りボランティア

今年度も全学年の担任へ凧の下絵書きから凧作りについて、丁寧に指導してくださった。凧揚げは河川敷で11月の土曜日学校公開に揚げたが、当日、児童へ凧の揚げ方についても指導もして下さった。また、昨年度の開校140周年記念式典で使用した、記念の大凧や連凧も運び出してくださり、来賓の方々も含め、来訪者を楽しませることができた。

登下校見守りボランティア

毎朝、正門で子供たちを誰よりも大きな声で出迎えてくださっている。本校児童の里親であったり、元民生児童委員であったり、常に地域のため、子供のためにご尽力いただいていることに大変感謝している。

< 課 題 >

本来であれば、もう少し人数がほしいところを少ない人数で活動しているため、さらなる募集をかけ、人数を集めることが課題である。年度当初だけでなく、定期的にイベントや広告などを周知し、興味を広げることが必要である。

5 コーディネーターより

いつもたくさんのボランティアの方が協力してくださることで、篠崎小学校の児童は大変気持ちよく学校生活を送れているのではないのでしょうか。子供たちがこの篠崎小をもっと好きになってくれるよう、これからも活動をいろいろと工夫していければと思っています。学校・保護者・地域を少しでもつなげていけるように取り組んでいきたいと思っています。

6 学校長より

令和6年度も、学校応援団ボランティアの皆様が篠崎小学校のために積極的に関わってくださいました。図書館整備ボランティアの方々は本の修理をしてくださり、季節に合わせた掲示に、子供たちは喜んでいきます。読み聞かせボランティアの方の読み聞かせは子供たちがとても楽しみにしています。農園ボランティアの方々にはさつまいもや小松菜などの植え付けや夏の水やりにも協力してくださいました。凧作りボランティアの方々は大凧を揚げて子供たちに披露してくださいました。大変ありがとうございました。引き続き、「篠小応援団」の皆様と協力しながら、篠崎小学校の教育活動がさらに充実していくよう、教育活動を進めてまいります。

篠崎第二小学校応援団実践報告書



1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 高橋 宏幸 コーディネーター 佐々木 仁

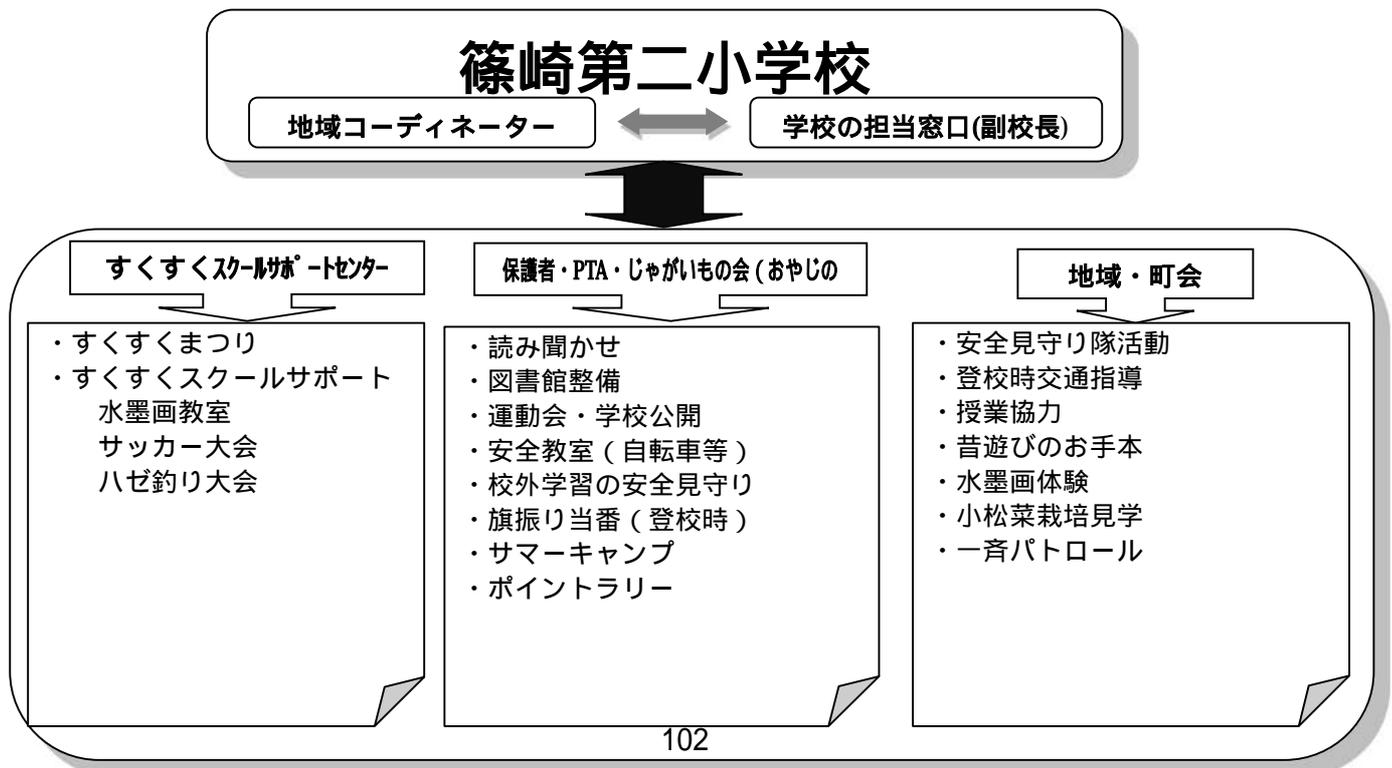
2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	63人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動内容

	応援団の名称	活動内容
地域・町会	登下校パトロール	通学路で登下校の安全を見守る。 4人【一斉下校パトロール時】
	水墨画指導	総合的な学習での水墨画の指導 1人
	読み聞かせ	学級に入って本の読み聞かせをする。 3人
	小松菜栽培見学	小松菜栽培の指導や見学をさせてくれる。 2人
じの会 保護者・PTA・じゃがいもおや	旗振り	登校時の安全を見守る。(毎朝) 25人
	登下校パトロール	通学路で登下校の安全を見守る。 5人【一斉下校パトロール時】
	交通安全教室	自転車教室等でのお手伝い。 10人程度
	学校行事の際の受付対応	学校公開、運動発表会等の受付 10人程度
	読み聞かせ	学級に入って本の読み聞かせをする。 5人
	ミシン学習支援	安全を見守り技術指導の支援をする。 4人(今年度はなし)
	調理実習支援	安全を見守り技術指導の支援をする。 5人(今年度はなし)
	図工学習支援	安全を見守り技術指導の支援をする。 随時募集(今年度はなし)
	図書館整備	本の修理や本の整頓を行う。 随時募集(今年度はなし)

4 学校応援団組織図



5 今年度の成果と今後の課題

< 成果 >

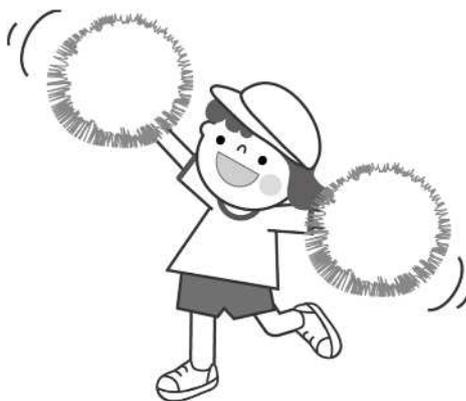
篠崎第二小学校のさまざまな教育活動に、「学校応援団」の方々の協力を得ることができました。朝の読み聞かせは全学年で行われ、子供たちが読書への興味・関心を高めることとなりました。授業では、校外学習時の安全確保や5年生の「水墨画」の専門的な要素の高い内容を地域の専門家の方にお越しいただき実施することができました。その他にも、学校図書館の整備や学校行事の際の安全パトロール、お花を植える協力など多くの場面で応援をしていただきました。

< 課題 >

学校応援団は、これまでも「おらが学校」のために一肌脱ぐ方々で実質的に組織されてきました。本校では開校当時から脈々と続く「応援団」魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。そのサポートは副校長を窓口として各応援団員の方々に依頼し、協力していただいています。しかし、現在応援団の方々の高齢化が進んでおり、今後、地域人材の発掘と学校応援団の理解を求めていくことが課題です。

5 コーディネーターより

地域の方々の中には、自分自身または子供が篠崎第二小学校にかかわった方が多いようです。母校のために何か協力できないかと思っている方は多いです。コーディネーターとして、そのような応援の「心」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠二小の教育がさらにより良いものにしていこうと考えています。



6 学校長より

いつも、篠崎第二小学校のために様々な場面で、保護者・地域の方々に支えていただいています。子供たちの安全と学びの向上のために、付き添っていただいたり、パトロールをしていただいたり、その応援ぶりに、いつも感謝しております。こうした保護者・地域の「応援団」の方々の姿そのものが、子供たちにとって「ふるさと江戸川」を知る良質な『教材』として生きています。今後とも、子供たちが健やかに育つ学びの場としての学校を応援団の方々と一緒に創っていきたいと考えています。よろしくお願ひします。



篠崎第三小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第三小学校長 熊田 和則
 コーディネーター 関口 晃

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	17人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安心・安全見守り隊	毎日の登下校時 SPSパトロール	2人
学校図書館業務	毎週木曜日	10人
読み聞かせ	毎週水曜日	15人
学校行事・PTA活動 支援・サンクラブ	不定期（フェスティバル運営・体育学習 発表会・学習発表会受付・見回り）	15人
授業支援	不定期（6月職場体験10月金管バンド引 率 1月書き初め大会手伝い 2月家庭科 ミシン学習補助）	15人

ウェズレーの会による「お話し会」



書き初め大会手伝い



毎日の見守り



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

6年生の職場体験のグループ引率をしていただき、事業所への往復の安全管理を行うことができた。家庭科のミシン授業や書き初め大会の補助、金管バンドの引率サポートなどしていただき、大変有難かった。

雨の日も風の日も毎日登下校を見守ってくださったおかげで、安全に登下校ができた。保護者からも感謝の声を聞いている。

定期的に本の読み聞かせやお話会を行い、読書活動が充実し児童が本を好きになった。また低学年の学級文庫の入れ替えを定期的に行い、子供たちが新しい本を手にする機会を得ることができた。

定期的に本の整理や修理を行い、学校図書館がきれいになり使いやすくなった。

< 課 題 >

コロナで一旦外部との連携が途切れ、学校応援団の方々による支援の機会が減少したが、できることを検討・実践し、活動の充実を図っていきたい。

学校応援団の活動を児童や保護者に今以上に周知するために、活動の紹介などの啓発活動を行っていく。

教員と学校応援団との打ち合わせ時間を確保し、より充実した活動となるようにする。

5 コーディネーターより

学校応援団コーディネーター 関口 晃

コロナにより学校行事等が制限され、学校応援団としての活動が縮小していましたが、昨年度、新旧のコーディネーター・PTA 会長・副会長・学校と打ち合わせ、活動の確認や今後の流れについて、共通理解を図ることができました。

今年度も、安全見守り活動や学校図書館支援活動、昨年度4年ぶりに復活した6年生の職場体験、ミシンの授業補助、書き初め大会の補助等、多くの支援活動ができたことが大きな成果となりました。今後も、学校応援団の一員として積極的に関わっていきたいと思いますので、メンバーの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

6 学校長より

篠崎第三小学校 校長 熊田 和則

毎年、たくさんのお力をお借りして学校の教育活動を進められていることに感謝申し上げます。「子供は地域の宝」と言いますが、子供たちがたくさんの方々に関わっていただいていることを、とても有難く思います。子供たちにも自分たちの周りで力を貸して下さっている方々がたくさんいることを伝えていきます。今後も学校応援団の方々、地域の皆様に助けをいただきながら子供たちを育ててまいります。引き続き、本校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

篠崎第四小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第四小学校長 鈴木 宏美
 コーディネーター 風間 春彦

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	166人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備・ブック맘	月3回(原則木曜日)	15人
読み聞かせ・おはなし隊	各クラス年3回	8人
登下校見守り	登校；毎日 下校；月1回	120人
防災部	不定期	3人
行事の補助・おやじの会	年3回	20人



登下校の見守り



おはなし隊による読み聞かせ



ブック맘による図書整備

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・校長の学校経営方針に基づき、ボランティア組織（ブックママ・おはなし隊・防災部・おやじの会）と連携をとり、学校行事等と関連付けながらその都度確認し、学校応援団の活動を継続させることができた。
- ・図書室の整備（ブックママ）では、児童の実態を考慮し、児童が本に親しむことができる環境を整えることができた。
- ・読み聞かせ（おはなし隊）では、年間の行事を考慮し、授業に支障のない範囲で朝の時間を活用し、学級ごとに読み聞かせをすることができた。
- ・保護者を中心に地域を11個所に分担し、毎朝の児童の登校の見守りをすることができた。月1回の「安全パトロール」では、できる範囲で児童の下校の見守りと地域の安全を確認できた。
- ・町会と連携し、避難所開設についても共に考え、今後、実際に起こった時に備えられるよう情報共有を行うことができた。
- ・おやじの会は、体育学習発表会や篠崎七丁目町会盆踊り大会、PTAのオータムフェスティバルにおいてテント設営や撤収・学校内外の見回り・イベントの補助を実施できた。

< 課 題 >

- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と、確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく必要がある。
- ・次年度以降もできる範囲での活動を考えていく必要がある。
- ・年度初めに、学校応援団の全体会を開催し、本事業の趣旨等を説明する必要がある。
- ・学校応援団の活動を、あまり知らない保護者の方がいまだ少なくないので、学校ホームページなどで発信し、地域みんなで児童のためによい学校を創っていくよう努力を続ける。
- ・登校や見守りについて、人数を増やしていけるとよいので今後も啓発、アピールを続けていきたい。

5 コーディネーターより

篠崎第四小学校は、学校・保護者・地域が一体となり、全校児童が、安全で安心して楽しく学校生活を送れるように取り組んでいます。「学校応援団」の活動と今後もその継続にあたり、その活動を少しでもお手伝いができるものと考え、本年度も活動を推進してきました。

今後も、応援団のスローガンにある「できるときに、できる人が、できることを」を合言葉に、保護者と地域の方の協力のもと、様々な学校への支援活動をしていきたいと思えます。

6 学校長より

篠崎第四小学校は、全校児童が安全で安心して楽しく学校生活を送れるように、保護者・地域のお力添えを得て、活動に取り組んでいます。既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちの成長のために良い環境を作ることができています。

今後も、子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するために、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思います。子供たちの伸びや高まりを目指し、本校の「共育・協働」をさらに一層進めて参ります。

篠崎第五小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第五小学校長 山田 勇一郎

コーディネーター 儀間 直江

2 ボランティア登録数(令和7年1月末現在)

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	37人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	月2回程度	14人
農園ボランティア	月2回程度	40人
行事サポート	不定期	10人
朝のあいさつ運動	年間6回程度(各1週間)	24人
下校パトロール	学期1回程度	18人



畑整備(農園ボランティア)



読み聞かせ(図書ボランティア)

4 今年度の成果と課題

<図書ボランティア>

成果

図書ボランティアの代表の方が学校とボランティアさんの予定を確認し、各クラスでの読み聞かせを計画した。ボランティアのみなさんは子供たちの発達段階や興味関心、季節・学校の行事に合わせた本を選定するなどの工夫をしてくださり、子供たちが本に親しむよい時間となっていた。また、読んでいただいた本のシリーズ本を教室で読むなど、子供たちが本に対する興味をさらに広げている姿も見られた。

課題

図書ボランティアさんの予定と学校の予定がなかなか合わず、実施する回数が昨年度より減ってしまった。来年度は年度初めに読み聞かせ実施可能日を図書ボランティアさんにお示しし、実施回数を確保できるようにしていく。また、計画的に図書ボランティアさんの募集を行い、活動を継続していく。

<農園ボランティア>

成果

本校には、竹林、田んぼをはじめ、広い農園が校舎の東側にある。タケノコ掘り、田んぼの代掻き・田植え・稲刈り・脱穀、畑の整備等、多岐にわたる活動を農園ボランティアの方々を支えていただいた。教職員と子供たちだけでは、この広い農園の整備や機械を使っでの作業等を行うのは難しい。夏季の猛暑の中での活動も含め、農園ボランティアの方々のおかげで、子供たちは様々な体験や収穫の喜びを得ることができた。

課題

農園の活動は畑、田んぼと専門的な知識を要する。継続的に活動して下さる方、農園活動の核となる方との連携を図っていくことが急務である。

<行事サポート・朝のあいさつ運動・下校パトロール>

成果

計画的に活動を行うことができた。行事サポートでは、体育発表会のテントの設営や片付け、学校公開での受付等でお手伝いをいただいた。教職員だけでは足りない部分をサポートしていただき、大変助かった。また、朝のあいさつ運動・下校パトロールでは、各通学路で声掛けや見守りをいただいたことで、子供たちが安全に、気持ちよく登下校することができた。

課題

今後も組織だった人員募集や年間を通した活動計画を整備していきたい。

5 コーディネーターより

読み聞かせでは、子供たちが真剣に聞いてくれるので、さらなる活動意欲の向上につながっている。今後も子供たちが本と触れ合う機会が増えることを望みつつ、読み聞かせの充実と人員確保に努めていきたい。農園活動では、担当の教員を中心に各学年と連携を図りながら進めていった。児童が怪我をしないよう、また目的の学習成果が得られるように、準備や作業を行ってきた。次年度はさらに連携を強化し、年間の活動の見通しをボランティア同士で周知し、活動に生かしていきたい。

6 学校長より

それぞれの活動でたくさんの方にご協力いただいた。本校の特色ある教育活動である農園活動はじめ、読み聞かせ、行事・登下校のサポート等、様々な場面で学校応援団の皆様がご協力くださったおかげで、学校教育の充実を図ることができた。教職員だけでは時間的・物理的に難しいことが多々ある中、学校応援団の力の大きさを感じる。今後も、学校と学校応援団の方と連携を図りながら、充実した教育活動を展開していくようにしたい。

南篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南篠崎小学校長 豊澤 みどり
 コーディネーター 神子 雅史

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	65人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
畑の整備と運営補助 農園ボランティア	不定期	45人
図書室の本の整理や装飾等 図書ボランティア	週1回	10人
読み聞かせ 図書ボランティア	通年	10人
登下校の見守り 旗振り当番	週5回	400人

【農園ボランティア】	 
<p>1年生は小麦の種まきやお芋ほりをしました。 2年生は脱穀機を利用しての小麦の脱穀体験などをしました。</p>	
【図書ボランティア】	 
<p>図書ボランティアの方々に朝読書の時間を利用して、本の読み聞かせをしていただきました。 図書ボランティアの方々と学校司書が連携して、図書室の本の整理や装飾等を行いました。</p>	

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 農園ボランティアの方々の計画的な農園の運営・管理をすすめていただき、必要に応じて学習活動を展開することができた。教員と連携を取り、具体的な学習活動を教員からボランティアの方々へ伝えることができ、質の高い教育活動を行うことができた。毎年、年度当初に新たに本校に加わった教員を対象に畑まで案内して取り組みを紹介して下さるため、教員側も学ぶことが多い取り組みになっている。
- 低学年の生活科の栽培活動の時間を中心に、農園ボランティアの方々に協力をいただいている。専門的な知識や技能を活用させていただくことで、ものづくりの良さや大変さ、昔の人々の知恵や努力を体感することができ、栽培への意欲と関心が高まった。
- 図書ボランティアの方々に定期的に本の読み聞かせをしていただいたことによって、本への関心をより高めることができた。
- 学校図書館司書と図書ボランティアの方々と連携し、書庫の整理や廃棄本の選定などを効率的に進めることができた。今年度から本の貸し出しと返却が電子化され、新刊が入荷されるごとにバーコード等の準備をしてくださることで、学校図書館の機能の充実につながった。

< 課 題 >

- 「例年通り」という気持ちではなく、毎年、年度当初に活動内容や予算の配分等、年間の計画を確認する必要がある。
- 教員やボランティアの方々が入れ替わった際もスムーズに活動が行えるように、引き継ぎや周知する方法を考え、広く周知できるようにする。

5 コーディネーターより

- 昨年度までは中止になったり制限をしたりしながらの活動でしたが、今年度は子供たちにとって有意義なものとなる活動が行えたと思います。来年度以降も子供たちにとってよりよい活動を目指していく上で、学校と連携して行いたいと考えています。

6 学校長より

- 昨年度より活動の機会が増え、子どもたちにとって有意義な時間が増えました。図書ボランティアの方々による朝の読み聞かせを通して、子どもたちの読書に対する意欲の向上や関心も高まったと思います。農園ボランティアの方々が計画して下さった様々な体験活動を通して、低学年の児童を中心に食に対する興味関心や大切さ等が学べたと思います。それぞれのボランティアの方々には、PTA 主催の南っ子まつりにも協力していただきました。一つ一つの活動を通して、保護者の方々の明るい笑顔を見ることもできました。今後も多くの方々にご理解・ご協力いただけるように学校の様子を伝えていきます。引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

鎌田小学校長 石渡 靖
 コーディネーター 鷲尾 斎

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	年2回	7人
読み聞かせボランティア	年11回	21人
図書ボランティア	不定期	7人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

「一緒に手を携えて」「出来るときに出来ることを」のスローガンのもと、地域・保護者の皆様にご支援・ご協力をいただいた。

読み聞かせボランティアは7回、朝読書の時間に各クラスに入っていただき、本の読み聞かせをしていただいた。図書ボランティアは、本の修繕、ラベルシール剥がし、書架の整理等をしていただいた。花壇ボランティアは、体育館前の花壇の整備を11月にしていただき、3月に花壇の整備を行う予定である。

今年度も、ボランティアの皆様のご支援のおかげで、多くの教育活動を意義深く実施することができた。

< 課 題 >

ご多用の中、活動に参加して下さったボランティアの皆様にご充実感を感じていただき、より良い活動ができるよう、担当者とは密に連絡を取り合うことが重要だと感じた。また、条件を最初に提示することで、より多くの人材にボランティアをお願いできると感じた。

これからも学校応援団の活動がさらに発展するよう、企画や立案を進めていく。

5 コーディネーターより

「一緒に手を携えて」のもと、保護者や地域の方々の協力により、ボランティア活動がスムーズに行われました。子供たちの健やかな成長のために、お手伝いできたことが良かったと思っています。今後も、子供たちのために、地域の方々や保護者の方の力をお借りして、より良い学校応援団活動を進めていきたいと思ひます。

6 学校長より

令和6年度も、保護者・地域の皆様との「かかわり」「共育・協議」を大事にし、心と心の絆を深めながら、鎌田小学校の学校応援団の充実を図ることができたと受け止めています。今後も、図書ボランティア・読み聞かせボランティア、花壇ボランティアの2つの柱を中核にして、学校と家庭と地域とが、一緒に手を携えて、鎌田小の教育活動や教育環境の充実を図ってまいりたいと思ひます。

次年度もさらに多くの方々との「かかわり」「共育・協働」のもと、これまで以上により良い学校応援団を築きあげていきたいと思ひます。

小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

小岩小学校長 大川 千章

コーディネーター 安武 久弥

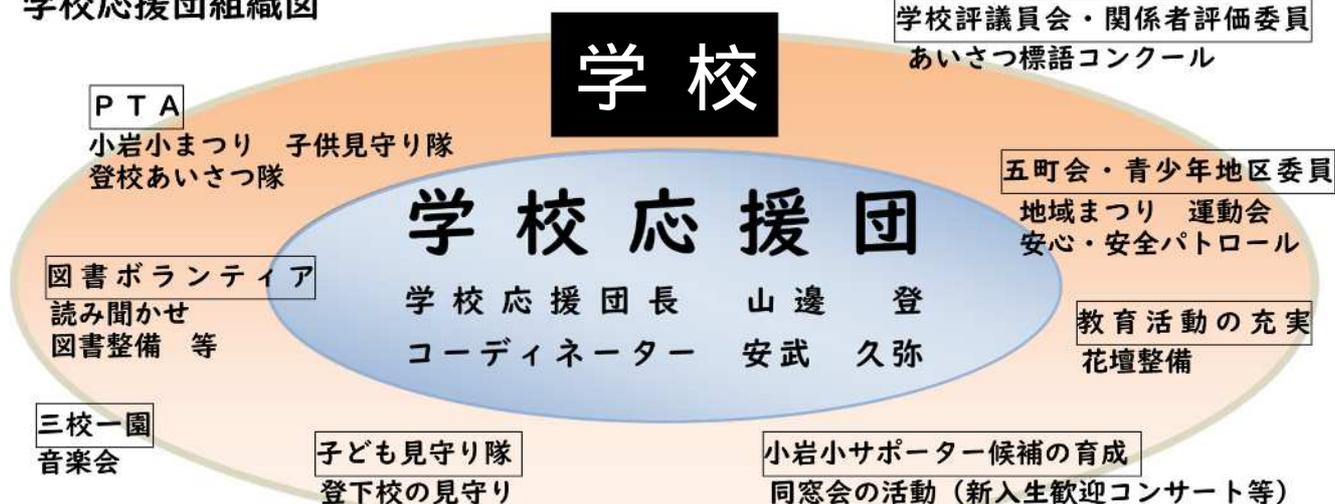
2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	310人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月2回(水曜日)	20人
読み聞かせ	月1回(水曜日)	20人
子供見守り隊(登下校時)	年2回	90人
子供見守り隊(校外学習)	年1回	10人
教育活動の充実	不定期	5人
小岩小サポーター候補の育成	年1回	10人

学校応援団組織図



4 今年度の成果と課題



図書ボランティア



子ども見守り隊



同窓会

< 成果 >

「子ども見守り隊」では、保護者や町会の防犯部の皆様を中心に、たくさんの方に児童の安全を支えていただきました。そして、本校図書ボランティアによる図書室整備や本の修理等を月 2 回、読み聞かせも月 1 回行っていただきました。そのため、児童が多くの本を手にとることができ、読書活動が充実したものとなりました。同窓会の活動では、次代の小岩小のサポーターの育成に大きな力を発揮していただいています。

< 課題 >

学校応援団を活かして新しい活動を始めたり、地域の人材を更に発掘したりするなどして、様々な側面から支援して頂けるようにしたいと考えています。そのため、計画的に活動を進め、人材の募集やホームページでの活動内容を発信して、学生等のボランティアを増やしていけるように努めます。

5 コーディネーターより

今年度は、卒業生の保護者にも参加いただき図書整備や読み聞かせ、見守り隊などの活動に取り組みました。今後もこうした活動が継続・発展し、小岩小の特色ある活動として定着していくようサポートしていく予定です。地域にあいさつの輪が広がるよう、保護者や地域、同窓会の組織と学校が一体となり、相互に理解と協調をもった温かい小岩小らしい学校応援団の活動を推進していきたいと思っています。

6 学校長より

小岩小の伝統やよさを活かしながら、バージョンアップした小岩スタイルづくりを進めています。新校舎が完成し、広い校舎で活動ができるようになったため、活動もより多様に、充実していくことができました。今年度も、保護者や地域の方々に多くの支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。今後も、保護者・地域の皆様により、信頼のある学校となるよう努力していきます。

東小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

東小岩小学校長 佐々木 恵子
 コーディネーター 永井 邦房

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア		
・ 図書選書ボランティア	月1回	3人
・ 読み聞かせボランティア	週1回程度	10人
農園活動ボランティア	不定期	15人
安全指導ボランティア	不定期	10人
校外活動ボランティア	不定期	12人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

「農園活動ボランティア」では、地域から寄付していただいた「ふき農園」を理科で活用し、年間指導計画に位置付けて活動している。今年度は、3年「さつまいも」、4年「じゃがいも」の栽培・収穫体験を行うことができた。学校応援団の方々に準備や日々の管理等をご協力いただき、今年度も継続して児童の活動を充実させることができた。

「安全指導ボランティア」では、土曜授業の際に、平日の登校見守りに加え、ボランティアの保護者が参加しての旗振り当番を実施していただき、交通事故0を継続することができた。

「読み聞かせボランティア」では、月に2回程度の回数で朝読書の時間に読み聞かせを実施していただいた。児童が目をキラキラ輝かせながら話を聞き、問いかけに答える姿が見られた。

< 課 題 >

農園活動ボランティアの方々が高齢となり、農園の日々の管理が難しくなりつつある。持続可能な「学校応援団」を継続していくためにも、様々な場面で活動を紹介し、さらに多くの人の協力や依頼の準備を徹底していくことが必要である。

5 コーディネーターより

P T Aや東小会（P T AのO B会）、小岩五町会が連携・協力して、児童の安全や健全育成に取り組み、平成21年度より学校応援団活動として統合しました。コロナ禍以前のような取り組みを実施できるようになり、「連携の伝統」を今年度も築くことができたと思います。地域の方々の協力により「学校農園活動が今年も無事にできました」という話や、保護者の協力により「子どもたちが安全に活動できた」等を耳にして嬉しく思いました。今後も学校・保護者・地域が一体となって、さらに発展した活動を行ってまいります。

6 学校長より

農園活動を行っている「ふき農園」は、平成13年に元P T A会長から学校に寄付していただいた農園で、奥様のお名前（婦喜さん）から「ふき農園」と名付けました。この学習には、地域の方が「学校応援団」として協力してくださっています。今年度は、学校応援団の方々のお力をお借りして、子どもたちと一緒にジャガイモやサツマイモの苗植えをしたり、収穫を体験したりすることができました。学校応援団の皆様が、日頃から草むしりや防鳥対策など、農作物のお世話を続けてくださったお陰で、とてもありがたく感じています。今年度、東京都教育委員会から感謝状贈呈団体に「ふき農園学校応援団」が選出され、感謝状が贈られたことも大変嬉しく思います。

今後も「連携の伝統」を継続し、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、地域とともに「地域に貢献できる子どもたち」を育ててまいります。よろしく願いいたします。

下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小 学校長 鶴田 麗子
 コーディネーター 成瀬 美恵子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	26人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
1年生の学習支援	週3回	11名
2年生の学習支援	週2回	11名
図書を読み聞かせ	月2回から月3回	14名
図書ボランティア作り作成	学期1回程度	6名



学習の支援



読み聞かせ

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

主に1年生と2年生の学習支援に学校ボランティアの方々が従事した。その結果、普段担任1人では支援が行き届かない児童への声掛けや支援が増え、児童の学習意欲も向上した。また、その支援に伴い、児童の学習の基礎的・基本的な学力の向上に一定の成果があった。

図書ボランティアの活動では、全学年児童を対象にして定期的に読み聞かせの機会を設けた。毎回工夫を凝らした読み聞かせの実施により、本校の読書科の推進にも大きな成果があった。

< 課 題 >

学校ボランティアの方が参加できる曜日にばらつきがあるため、どの活動でも同じような支援を行うということに課題が残った。学習支援では、今年度は本校の児童数が1・2年生を合わせると131名、5クラスあるため、次年度もより充実した児童への支援を行うためには、学校としても対応を考えていく必要があった。

5 コーディネーターより

日本語の指示が理解できない外国籍の児童にも、教師の指示を理解できるように丁寧に分かりやすく伝えていく支援を行っている。学校ボランティアのサポートにより、児童が安心して学校の教育活動に参加できる機会が増えている。

6 学校長より

いつも学校応援団の皆様には、本校の学校教育に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。学ぶ喜びと安心感を児童に味わわせてくださっている学習サポーターの皆様、また、読書科を推進する江戸川区の教育の一翼を担ってくださっている図書ボランティアの皆様、学校からお願いをするばかりで心苦しい思いがありました。応援団の皆様が喜んで取り組みを推進してくださっていることに感謝申し上げます。

今後は、主にホームページを通じて皆様の取り組みを発信し、その成果を共有するとともに、さらにたくさんの方々にお声がけし、価値的な活動を推進してまいります。

上小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩小学校長 宮本 知司
 コーディネーター 石川 きよ子

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	毎週木曜日	5
見守り隊	毎日	25
学習・行事支援	不定期	5



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

定期的な図書ボランティアの読み聞かせ活動や毎週の環境整備により、学校図書館の充実とともに児童が読書に親しむことができるようになった。

保護者、地域の方の見守り隊の安全支援により、児童が安全に登校することができた。

放課後の見守りや行事の開催時の支援等により、児童の体力向上や学校・地域を大切にしている心情を育むことができた。

< 課 題 >

協力してくださる方の固定化や高齢化等の課題が出ているので、保護者への呼び掛けをさらに活発にし、より多くの参加者を募るようにしていく。

学習支援や読み聞かせ等、次年度への引継ぎ資料を作る等、活動内容が分かりやすくなるようにしていく。

5 コーディネーターより

子供たちの見守りを中心に、上小岩小学校の子供たちの健やかな成長を願い「学校応援団」の代表として、学校の教育活動を支援しています。保護者、地域の皆様から様々なご支援をいただいています。

今後もより充実した応援体制がとれるよう活動してまいります。

6 学校長より

本年度も、児童の思いやりの心や、命を大切にする態度を育てるために、保護者・地域の皆様に学校応援団としてご支援をいただき、充実した活動が行われました。

図書ボランティアによる読み聞かせ活動や学校図書館整備を通して、子供たちは本の世界、読書のよさを味わうことができました。見守り隊による登下校時の見守りは、たくさんの方々に見守られていることによる日々の安心感をもたらしています。8月には、「夏の暑い日でも体育館で遊べるように」と体育館を開放しました。その際には、参加した児童の安全の見守りをさせていただきました。

『子供たちのために』という学校応援団の皆様のご協力に大変感謝しております。今後も皆様の応援してくださる気持ちをしっかり受け止め、さらに連携を深め、皆様と共に歩む学校づくりを行ってまいります。

上小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩第二小学校長 小野塚 良朋
 コーディネーター 細川 英一

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	99人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備	本の修理・整理整頓・室内装飾 (週1回実施)	24名
読み聞かせ	朝の読み聞かせ(月1回実施)	25名
地域安全パトロール(朝)	学期当初実施	30名
地域安全パトロール(夕)	年1回実施	7名
古紙回収	月1回実施	3名
交通安全教室	1～3年生で年1回実施	10名



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

○図書ボランティアは、週1回活動し、図書室の本の整理や修理、室内の飾りつけ等を行ってきました。季節に合わせて子どもたちが本を読みたくなるような掲示の仕方を工夫して親しみやすい図書室の環境を整備しました。また、本の出し入れをしやすくしたり、選びやすくしたりするために、本の入れ替え作業を行いました。

読み聞かせボランティアは、月1回（8時25分～8時35分）行うことができました。読み聞かせボランティアの周りに集まって本を見ながらお話を聞いたり、書画カメラに投影したりしました。毎回楽しみにしている児童も増えてきています。

朝の旗振り・地域安全パトロール活動は、登校時や長期休業中の一定期間に行ってきました。そして、交通安全教室では実際に歩道を歩く際の児童の安全を確保するために、ご協力をいただきました。その際に、交通安全に気を付けさせるとともに、公園での遊び方や不審者対策などの見守りも行うことができました。また、地域の夜間パトロールも実施しました。

その他、古紙回収のお手伝いは、資源回収をすることによって環境に配慮した活動ができました。

< 課 題 >

現在PTAが中心になって活動を行っていますが、図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の活動に対し、活動ボランティアを募っている状況です。今年度は、新たに地域の方も参加していただきましたが、より多くの学校応援団のメンバーを募っていくことが課題です。

5 コーディネーターより

日頃から先生方・保護者の皆様・地域の皆様のご協力によって児童がより良い学校生活が送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心よりお礼申し上げます。

今年度は、さらに充実した活動をすることができました。活動を通して子どもたちの笑顔を多く見られるように計画・実施することができました。これからも児童が豊かな学校生活を送れるよう、一同力を合わせて頑張っ参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

6 学校長より

安心・安全な学校生活を送り、子どもたちの笑顔が多く見られた1年でした。子どもたちのため、学校のために活動していただいたボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

本校の学校応援団は、学校行事全般についてもきめ細やかに子どもたちの安心安全と健やかな成長のために活動していただひています。

今後とも子どもたちの笑顔あふれる学校づくりのためにご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

西小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

西小岩小学校長 大野 知子
 コーディネーター 植草 誠

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	花壇の花の植え替え・整備（不定期）	10名程度
家庭科ボランティア	家庭科の授業の補助（不定期）	10名程度
図書ボランティア	学校図書館の環境整備（月2・3回）	15名程度
登校安全ボランティア	登校時の見守り（毎日）	10名程度

図書ボランティアの活動の様子



花壇ボランティアの活動の様子



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

登校安全ボランティアでは、通常の個人登校時、各学期始めの登校班登校週間ともに、保護者による登校の付き添いや見守りのおかげで、事故なく登校ができた。

花壇ボランティアでは、学校の式典に向けて、学校を訪問される方々、毎日登校する児童のために、きれいな花や花壇でお迎えすることができた。

図書ボランティアでは、学校図書館の環境整備に加え、読み聞かせを実施することができた。

家庭科ボランティアでは、高学年の調理実習やミシンの学習をするときに助言やお手伝いがあるので、児童が安心して学習に取り組むことができた。

< 課 題 >

朝の登校時の見守りボランティアの人数が不足している。募集をしてもなかなか集まらない現状がある。PTAとして、近隣町会等とも連携し、子供たちの安全につながる活動を進めていく必要がある。

これまで学校応援団の活動にご協力いただいていた方が、子供の卒業や転居などで継続が難しくなっている現状があり、これまでと同じような運営方法が厳しくなっている。今後は、保護者の方々にボランティア活動に興味をもってもらえるような広報活動を行う必要がある。

5 コーディネーターより

学校応援ボランティアの活動に参加してくださる保護者の皆様は、子供たちのために、思いをもって活動に参加して下さっています。近年の社会情勢により、共働きなどの家庭が増えてきたことで、ボランティアが集まりにくい状況になってきています。

活動の時間や回数、タイミングなど保護者の皆様のご都合に合わせてながら、活動の行い方を工夫することで、負担や負担感のないようにし、多くの保護者に協力をいただけるように進めていきたいと思えます。

これからも学校応援団の活動の輪が広がり、学校・PTA・地域が連携して、子供たちのよりよい成長と学びのためにみんなで力を合わせたいと考えています。

6 学校長より

本校では、学校応援団が設立する前より、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、学校ボランティアの支援体制が整っていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、積極的な活動をしていただくことが難しい状況がありました。今では、困難を乗り越え、学校応援団のボランティア活動が順調に進められるようになりました。人数などは、多少縮小してしまいましたが、思いのある保護者が新たに組織を立ち上げる思いで、取り組まれています。

これからも学校応援団の方々と協力をして、充実した学校教育活動を進めていきたいと思えます。

上一色南小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

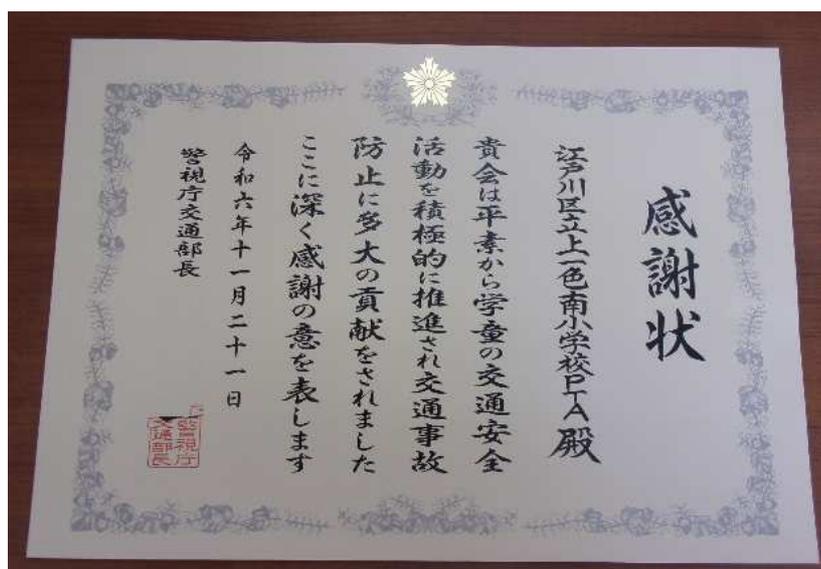
上一色南小学校長 平田 鐘明
 コーディネーター 稲生 成哲

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	65人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	月1回(火曜日)	14人
登校見守りボランティア	毎日	35人
ベルマーク・アルミ缶	月1回	3人
お父さんボランティア	運動会運営協力・上南まつり	12人
陶芸ボランティア	夏休み・冬休み(各2日)	0人



今年度受賞した交通部長感謝状

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

○図書ボランティアによる読み聞かせ活動を、子どもたちは楽しみにしており、様々なジャンルのお話に触れる良い機会となっています。また、学校図書館の季節に合わせた掲示などの環境整備を通して、子どもたちは図書館に親しみ、読書に対する意欲を高めることができました。

○登校見守りでは、お家の方や地域の協力を得て進められています。また永年の活動が称えられ、令和6年12月、「秋の交通功労者等表彰式」において、交通部長感謝状を受賞しています。

< 課 題 >

○学校応援団ボランティアに多数の参加をいただいておりますが、様々な活動の企画運用を担う中核スタッフの方の人数が年々減少しており、活動の継続が難しくなっています。

5 コーディネーターより

興宮町、本一色、上一色。子供たちが通うこの地域は、人情味に溢れ、古き伝統が根付いた地域です。そのような暖かい町で本校は、未来ある子供たちの育成を主とし、運動会・盆踊り、サークル活動など地域活動の拠点として、地域コミュニティの場としての役割も果たしてきました。親・子・孫が同じ小学校を卒業し、学校を中心に話題を共有する。これからもこの関係は変わらないものだと思っています。

子供たちの安全・安心、そして健やかな成長のため、学校と力を合わせ、多くの方の御協力をいただきながら活動しておりますが、更なる支援の輪を広げるべく、皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

PTA 会長 稲生 成哲

6 学校長より

上一色南小学校は、保護者や地域の方々から「読み聞かせ」「登校見守り」「運動会」などの指導に御協力していただき、教育活動を行っています。

日々の教育活動が充実したものになっているのも、学校・家庭・地域の連携があつてこそと、感謝しています。これらのことは、今後も子供の安全を守り、心と体を育てていく極めて大切なことであると考えます。

今後も三者の連携のもと、学校応援団としての組織の充実と、幅広い協力体制を確立していきたいと思っています。そして「たくましく、やさしい」上南の子を育てていきます。

上一色南小学校 校長 平田 鐘明

南小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩小学校長 吉田 友信
 コーディネーター 島田 雅人

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	月1回 第2金曜日	15
図書ボランティア	図書整備 不定期	10
旗振り 登校見守り	毎日	15
おやじの会	不定期	10



読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

読み聞かせボランティアは、保護者・地域の方々に構成されており、毎月1回各学級での読み聞かせを実施している。子供たちが地域の方と共に学ぶ大切な機会であり、地域に愛着をもつ子どもの育成につながっている。子供たちは、毎月の読み聞かせをとても楽しみにしており、読んでいただいた本を更に自分で読み返したり、同じ作者の作品を探して読み進めたりする姿が多くなった。

また、図書ボランティアは、おすすめの本の選書・本の修理・学校図書館の環境整備等を実施している。毎回、担当教員との打ち合わせを行い、ボランティアの専門知識を活かして活動している。登校見守りボランティアは、学区域の多くの場所で子供たちの安全を見守っている。どの活動も組織的に行われており、安定した活動が進められているため、教職員も校務負担の軽減につながっている。

< 課 題 >

今年度校庭が完成し、本格的な新校舎での学校生活となった、昨年度からおやじの会をはじめとして活動が再開した。しかしながら、学校応援団活動を活発にしていこうことや、活動を充実させるための予算執行の在り方等の検討が課題となる。そのためには、魅力ある応援団の活動を、学校ホームページ等で積極的に広報するとともに、人員募集を行ったり、人材を発掘したりして応援団組織の活性化を図ることが課題となる。

5 コーディネーターより

南小岩小学校の子供たちを伸び伸びと成長させたいという願いで始まった学校応援団。読み聞かせボランティア・図書ボランティア等の組織を通じて南小岩小学校の教育活動を支え、保護者や地域の皆様と協力し合い、活動を広めたいと常に考えてきました。様々な情報交換をして、更に支援を図りたいと考えています。登下校の見守りや、すすくスクールとの連携も引き続き必要です。これまでも三自治会(一南、司、扇子田)とは、様々な地域行事に協力させていただき、参加することで親交を深めてきました。さらに、南小岩小学校の学校応援団が活発に活動していきたいと考えています。

6 学校長より

保護者・地域の皆様には、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書ボランティアによる図書館環境整備、毎朝の登校見守り、ふれ愛まつり等にご協力いただき感謝しております。

今後も、地域の方々と連携を深めながら、子供たちが「南小岩小学校でよかった」と心から実感できるように学校環境を整備していくとともに、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図ってまいります。地域や保護者に信頼される学校となるよう全力を尽くしてまいります。ご支援・ご協力をお願いいたします。

南小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩第二学校長 安田 真理
 コーディネーター 木村 浩昭

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	64人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	毎週木曜日	18名
基礎タイムボランティア	毎週水曜日	15名
図書室整備ボランティア	毎月第一水曜日	12名
父子会(ちゃんこ会)	不定期	10名
交通安全見守り	週5回	9名



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- ・ P T Aによる交通当番に加えて、学校応援団として朝の登校見守りを行って頂いた。
- ・ 毎週木曜日に、読み聞かせボランティアの「ずんずん」さんに読み聞かせを行っていただいた。読み聞かせをしてもらうだけではなく、6年生には自分たちが読み聞かせをする時のポイント等も指導して頂き、実際に下学年の読み聞かせに生かすことができた。
- ・ 毎週水曜日に、基礎タイムボランティアによる朝学習の指導補助や丸付けをしていただいた。
- ・ 毎月第一水曜日に、図書ボランティアに書架整理を行っていただいた。応援団費で購入したラミネートを使って、図書室の掲示物を作成して頂いている。
- ・ 父子会(ちゃんこ会)は、5月「運動会」の片付けの手伝い、7月「夏のお楽しみ会」の企画、運営、12月「にこにこ祭り」への出店、1月「冬のちゃんこ会イベント」等、子供たちの笑顔のために活動していただいた。

< 課 題 >

- ・ 昨年度に引き続き、ボランティアを増やしていきたい。そのために、tetoru やホームページ等を通じて活動状況を広く伝えていく。

5 コーディネーターから

学校応援団にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。今年度は、長年にわたって朝の交通当番をしてくださっていた地域ボランティアの方が引退されたため、保護者の皆様に協力を頂きながら、朝の見守りを行うことになりました。

本校の学校応援団は、環境整備・書活動・学習支援・安全安心を4本柱として活動しております。どの活動も、子供たちの健やかな成長につながる大切な活動です。一人でも多くの方に参加いただけるよう、情報発信をしていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

6 学校長から

学校応援団の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力をいただき感謝しております。コーディネーターの木村さんはじめ、読み聞かせサークル「ずんずん」の皆様、図書室整備ボランティア、基礎タイムボランティアの皆様には、今年度も大変お世話になりました。本校の課題の1つである学力向上に向け、多くの学校応援団の皆様にお力をかしていただけたことは、教員にとっても心強く感じられることでした。

また、今年度も、父子会主催の「子供夏のお楽しみ会」「冬のちゃんこ会まつり」やPTA主催の「にこにこまつり」等で、学校応援団の皆様にとくさんご協力いただきました。児童の笑顔があふれる行事となったこと、また運動会をはじめとして、一年を通していろいろな場面で本校児童を学校とともに育成していただけていることに心から感謝申し上げます。

中小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

中小岩小学校長 鈴木 薫
 コーディネーター 内田 泰雄

2 ボランティア登録数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
子ども見守り隊	週5回	20人
図書整備・装飾	月1～2回	20人
環境整備	年2回	10人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

- 「子ども見守り隊」では、毎日の登下校時に交通安全などの見守りをしていただいた。毎日声かけをして児童と地域の方々がふれあうことは、関わりが取れるよい機会となっている。地域と連携していくことは大切なことだと感じている。
- 図書ボランティアの方には、本の整備・修繕、季節に合わせた図書館の装飾や特設コーナーに設置等をしていただいた。本が整理され、使いやすい図書室になっている。図書室の環境整備に力を入れていただいた結果、児童の読書への意欲・関心が高まった。

< 課 題 >

- ボランティアをしてくれる方の確保が年々難しくなっている。次年度も、様々な機会を通じて呼びかけ、新しい学校応援団の人員を増やしていく必要がある。

見守り隊の方々の高齢化が進み、新たに協力していただける方の確保が困難であることが毎年の課題である。PTAを中心に保護者の方々にも協力していただき見守りを続けているが、共働きも増えているため、新しい形の見守りを考えていかなければならない。

5 コーディネーターより

子ども見守り隊の活動として、毎朝子供たちと毎日ふれあっています。登校姿や日々の生活の中でも成長していく姿を見ることができ、うれしく思っています。

引き続き、様々なものを簡素化し、ボランティアに参加しやすい環境を整えていきたいと考えています。子供のために学校と連携を取り、できる限りの応援活動をしていきたいと思いをします。

今後も、子供たちが心豊かに成長してくれることを願って、地域や保護者の方々と連携・協力しながら、学校を応援する様々な活動を続けて参ります。

6 学校長より

中小岩小学校の教育活動に対して、ご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

学校応援団の取組は、子供たちが安全安心に、そして充実した学校生活を送るための大切なりつつあります。地域の子供たちが安心安全に過ごすことができるようとの願いから生まれた「子ども見守り隊」や、子供たちの学び環境を充実させようとの思いから活動されている「図書整備」など、それぞれの活動には必ず目的があります。本校が目指す教育活動と学校応援団の活動に取り組みされている各グループ等の目的を共有し協働することが何よりも大切です。

家庭や地域をはじめ社会が大きく変化しつつある中で、これまでの学校応援団の成果を生かしながら、新しい時代に向けた学校応援団の活動を検討し、その改善と充実に向けて取り組んでまいります。

北小岩小学校 学校応援団 実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

北小岩小学校長 藤島 寿晴
 コーディネーター 鈴木 充孝

2 ボランティア数（令和7年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	23人
	学生ボランティア	2人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館の装飾・整理	不定期	6人
花壇の整備	不定期	5人
周年行事のお手伝い	不定期	18人
行事支援	不定期	4人



4 今年度の成果と課題

< 成 果 >

今年度は、図書室の飾り付けや花壇の整備に加え、北小岩小学校創立70周年記念に伴う周年行事のお手伝いを行いました。周年行事については、様々な準備から記念式典・祝賀会当日のお手伝いなど、多くのボランティアの方に参加をいただくことができました。

また、2月8日に行われる「ハートフルフェスタ」では、子供たち向けのワークショップを開催予定です。このように多岐にわたる活動を計画・実施することができました。

< 課 題 >

いろいろな活動を試みている反面、図書室の飾り付けや花壇の整備については、ボランティアの参加者数が伸び悩んでいます。

そのため、活動日の設定（曜日や時間など）などもさらに配慮し、学校応援団活動の周知などを行っていききたいと思います。

また、コロナ禍で、中止していた読み聞かせ活動を、今年度 PTA 活動として、再開しているので、学校応援団とも連携し、読み手の確保に期待したいと思います。

5 コーディネーターより

今年度は、周年行事があり、多くのボランティアの方に参加をしていただきました。ボランティアの方々も楽しく、笑いながら活動できましたので、この繋がりを大事に、今後も活動にご協力いただきたいと思います。また、そのためにも楽しく活動できるよう、活動内容などをいろいろと考えていく必要があると思います。PTA 活動との違いを保護者の方にご理解いただきたく、今年度は募集の仕方も変えてみました。

学校応援団の活動を広く周知し、ボランティアとして、たくさんの方にご理解いただき、参加していただけるよう活動をしていきたいと考えています。



6 学校長より

常に子供たちのために活動してくださる学校応援団の皆様は学校にとって本当に貴重な存在です。季節を感じさせる草花に溢れている花壇を見るたびに嬉しく思い、学校応援団の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。学校図書館は常に本の修繕や整理がされ、また、季節ごとの掲示物の工夫は、図書室に足を運ぶ子供たちを増やし、子供たちの本に親しむ気持ちを後押ししてくれています。今後も学校応援団の皆様と協力して、子供たちの笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思っています。